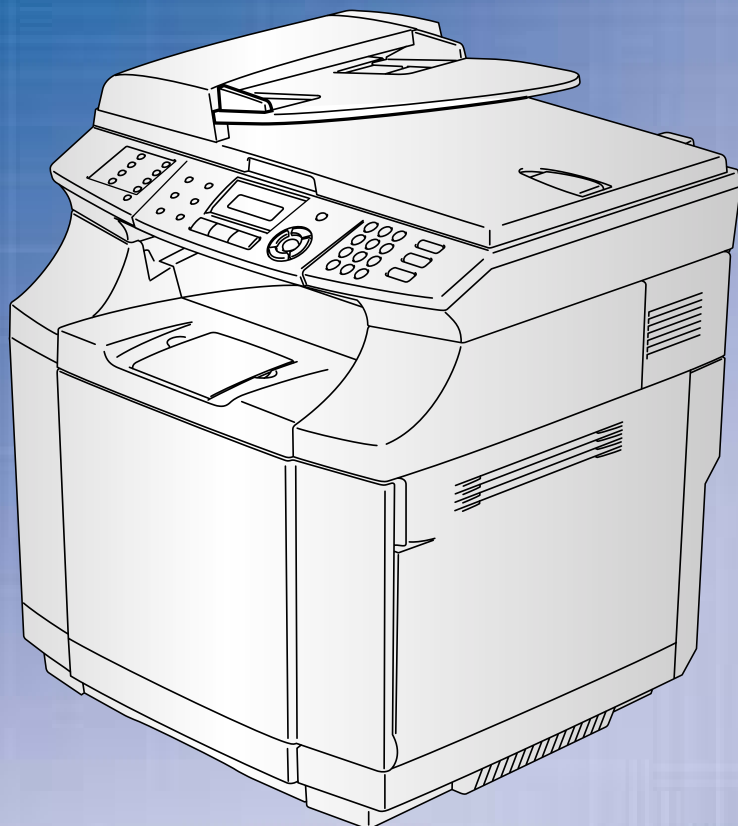
brother

ネットワーク設定ガイド
MFC-9420CN

基本編

特殊設定編



お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）

0120-143-410

おかけ間違いのないようにご注意ください。

この商品の取り扱い・操作・障害についてご不明な点がございましたら、上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけください。

●受付時間／9:00～20:00（土曜日のみ17:00まで）
●営業日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

添付ソフトウェア（Presto!® PageManager®）お問い合わせ窓口
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL/03-5472-7008　FAX/03-5472-7009

●受付時間／午前10:00～12:00 ・ 午後1:00～5:00（土日・祝日を除く）

やりたいことがすぐ探せる! **やりたいこと目次** 7P

ユーザーズガイドの構成

本機には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

	かんたん設置ガイド 必ず本書からお読みください。本機を使用するための準備について記載しています。
	ユーザーズガイド（印刷版） ファクス、コピーのしかたや本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	画面で見るユーザーズガイド（CD-ROM） 付属のCD-ROMには、パソコン画面で見ることができる次のユーザーズガイドが収録されています。 • ユーザーズガイド（HTML版）：各種機能の説明が収録されています。 • ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）：パソコンに接続して使う機能の説明が収録されています。 • ネットワーク設定ガイド（PDF版）：ネットワークに接続して使う機能の説明が収録されています。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本機をお使いになるにあたって、注意していただきたいことがらを説明しています。
補足	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P.XXX	本書内の参照先を記載しています。（XXXはページ）
P.XXX	ユーザーズガイド（印刷版）の参照先を記載しています。（XXXはページ）
P.XXX	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはページ）
P.XXX	ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）の参照先を記載しています。（XXXはページ）

商標について

Brotherのロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。
Windows® 98の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中ではWindows® 2000と表記しています。）
Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中ではWindows NT®と表記しています。）
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
本文中では、OS名称を略記しています。
Microsoft 、MS-DOS、Windows、Windows NTおよび LAN Managerは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Appleのロゴ、Macintosh®、Mac OS®、iBook®は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Adobeのロゴ、Acrobat、PhotoshopおよびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
Ethernetは、Xerox Corporationの商標です。
ウイルスバスター ™は、トレンドマイクロ株式会社の商標です。
Norton AntiVirus™は、Symantec Corporationの商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

本書の読みかた

参照ページです。
クリックすると、関連する情報が
記載されているページに移動します。

章を示します。

インデックスです。
現在の章を黒色で示します。

大見出しです。

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

中見出しです。

概要

Windows® 2000/XP、Windows NT®の場合は、TCP/IPプロトコルを使用して、本機から直接印刷出力することができます。ネットワークサーバーなどは経由せずに印刷します。

● 条件

- コンピュータにLANボードが装備され、TCP/IPプロトコルがインストールされていること。
- 本機にIPアドレス、サブネットマスクなどが設定されていること。
- コンピュータと本機が、同一のネットワーク上にあること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. コンピュータに本機の関連付けをします。P.60 を参照してください

補足項目です。

補足

●Windows® 2000/XPの場合
標準でTCP/IPプロトコルがインストールされています。

●Windows NT® 4.0の場合
Windows NT® 4.0にTCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、P.65 を参照してインストールしてください。

小見出しです。

プリンタドライバのインストール

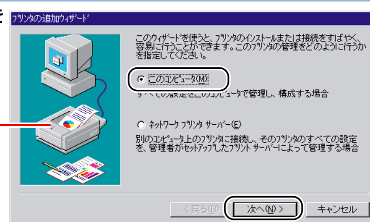
すでにプリンタドライバがインストールされている場合はP.68 を参照してください。

操作手順です。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックする

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 ［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする



操作手順を補足する手順画面やイラストです。

注意項目です。

注意

■［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように注意してください。

基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークファクス機能を使う
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

59

ページ番号です。

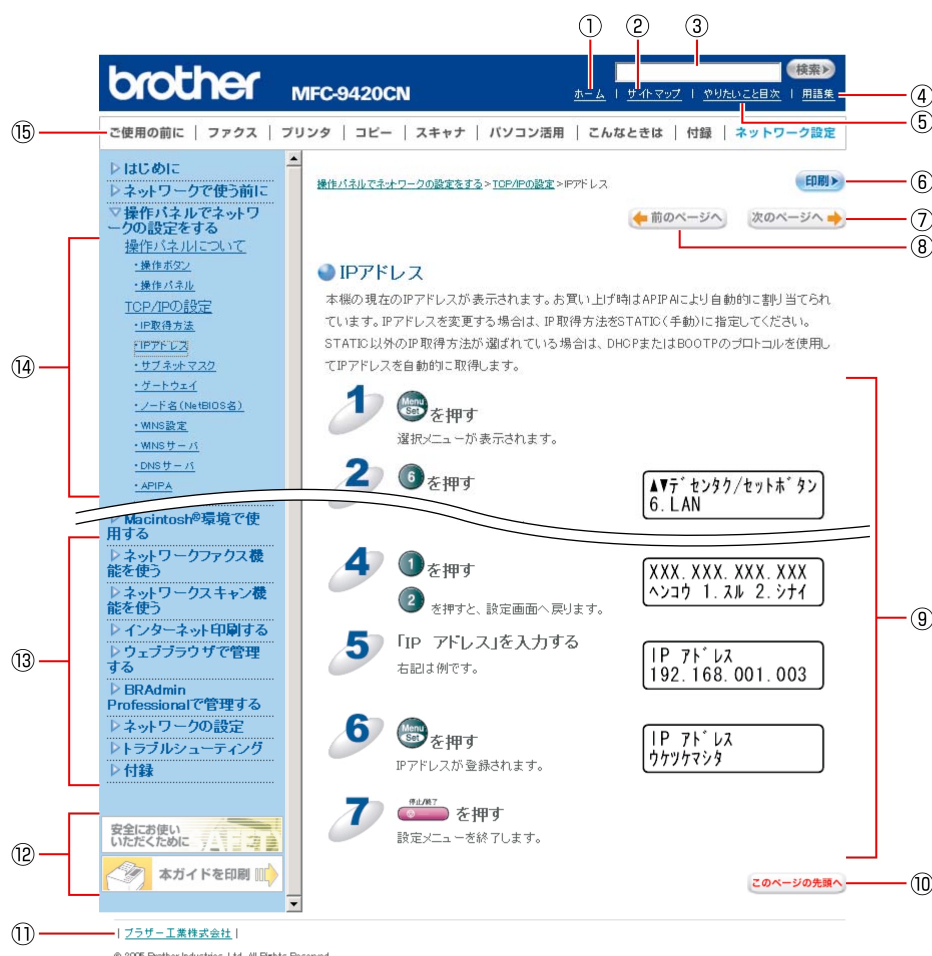
このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

ユーザーズガイド（HTML版）の表示画面と操作

ユーザーズガイド（HTML版）をお読みになるための表示画面と操作を簡潔に説明します。



①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	用語集を表示します。
③	やりたいこと目次に移動します。
④	本ガイドの全体構成図を表示します。
⑤	各機能のページ（章）に移動します。
⑥	「ご使用の前に」：ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」：日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」：文字入力／機能一覧／仕様／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」：ユーザーズガイド（HTML版）ガイドを印刷する場合の説明をしています。
⑦	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。
⑧	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。



①	トップページに移動します。
②	本ガイドの全体構成図を表示します。
③	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
④	用語集を表示します。
⑤	やりたいこと目次に移動します。
⑥	現在のページを印刷します。
⑦	次のページに移動します。
⑧	前のページに移動します。
⑨	操作内容を表示します。
⑩	現在のページの最上部に移動します。
⑪	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑫	「安全にお使いいただくために」：本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」：ユーザーズガイド（HTML版）を印刷するときの説明をしています。
⑬	大見出しです。
⑭	中見出し・小見出しです。
⑮	各機能のページ（章）に移動します。

はじめに

概要

本機のネットワークインターフェースを利用してLANまたはWANに接続し、ネットワーク上のコンピュータから本機で原稿のスキャンや印刷ができます。
本書は、本機をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

特長と機能

インターネットファクス機能

本機に電子メールアドレスを割り当て、LANやインターネットを通じてコンピュータや他のインターネットファクス機能搭載機器とメールを送受信または転送できるようになります。
詳しくは P.81 を参照してください。

ネットワークプリンタ機能

(Windows® 98/98SE/Me/2000/XP Mac OS® 9.1～9.2 Mac OS® X 10.2.4以降)
本機のネットワークインターフェースはTCP/IPに対応しています。TCP/IPの印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のコンピュータから直接印刷できます。

ネットワークスキャン機能

(Windows® 98/98SE/Me/2000/XP Mac OS® X 10.2.4以降)
モノクロまたはカラーでスキャンした画像データを、ネットワーク上のコンピュータまたは本機へ直接保存できます。
詳しくは P.101 を参照してください。

管理ユーティリティ

BRAdmin Professional（Windows® 専用）
付属のソフトウェアBRAdmin Professionalを使用すると、本機のネットワークインターフェースやPC-FAXなどの設定を簡単に行えます。
詳しくは P.122 を参照してください。

BRAdmin Light（Macintosh® 専用）
BRAdmin Lightを使用すると、本機のネットワークインターフェースなどの設定を簡単に行えます。
BRAdmin Lightは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からダウンロードできます。
詳しい使用方法については、上記ウェブサイトをご覧ください。

やりたいこと目次

ネットワークプリンタとして使いたい。

本機をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のコンピュータから印刷できます。

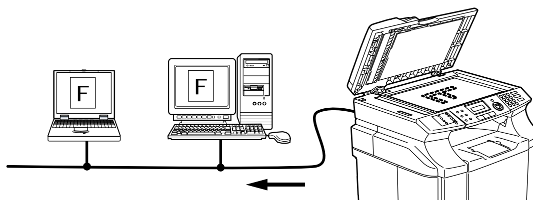
- Windows® の場合 P.59
- Macintosh® の場合 P.78



ネットワークスキャナとして使いたい。

本機をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

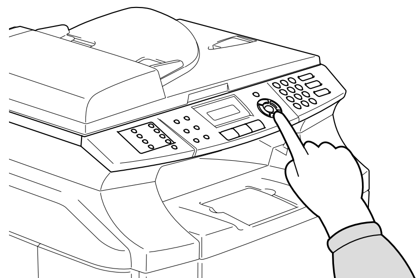
詳しくはP.101を参照してください。



操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。

操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本機を使用するための設定ができます。

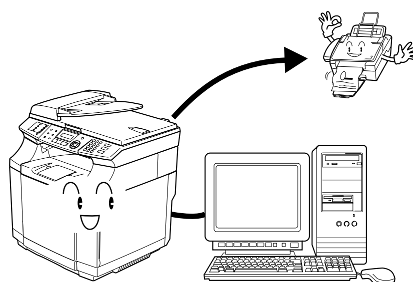
詳しくはP.24を参照してください。



インターネットを使ってファクスを送受信したい。

インターネットを経由して、ファクス文書を送受信できます。

詳しくはP.82を参照してください。



目　次

基本編

基本編

1章

ネットワークで使う前に

ネットワーク導入作業の流れ

すでに「かんたん設置ガイド」記載の通り「ネットワークケーブルで接続する」を選択してインストールされた場合は「ネットワーク導入作業」は済んでいます。

補足

● Windows® XP Professional x64 Edition をお使いの場合は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からドライバをダウンロードしてください。

ネットワーク接続方法を決める

↓

お使いの環境に合わせて本機をどのように接続するかを決めます。P.17 を参照してください。

IP アドレスを決める

↓

本機に割り当てる IP アドレスを決めます。P.21 を参照してください。

本機とコンピュータをネットワークケーブル（LAN ケーブル）で接続する

↓

接続方法については、かんたん設置ガイド P.17 を参照してください。

ネットワークの設定を行う

↓

操作パネルを使用して、本機をネットワーク上で利用できるように IP アドレスなどを設定します。
ウェブブラウザを使用する場合はP.117 を参照してください。
BRAdmin Professional または BRAdmin Light を使用する場合はP.124 を参照してください。

ポートを追加し、プリンタドライバをインストールする

ネットワークの基礎

概要

ネットワークに本機を接続すると、LANで接続されている複数台のコンピュータから印刷することが可能になります。
ネットワークに本機を接続して使用するには、プロトコルの選定とネットワークの設定、使用する各コンピュータの設定が必要です。

補足

- プロトコルの選定とネットワークの設定
  すでにネットワークに接続されている場合は、使用している印刷用プロトコルを確認してください。なお、この場合はネットワークの設定は不要です。

プロトコルについて

コンピュータ間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなコンピュータが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IPは、ファイルやプリンタの共有も行うことができます。ネットワーク内では、コンピュータなどの機器の特定にIPアドレスが使用されています。

プロトコルの設定に必要な項目

TCP/IP設定

下記の内容は、通常ネットワーク管理者が管理します。
- IPアドレス、サブネットマスク
- ゲートウェイ（ルータがある場合）

● IP アドレス

0～255の数字を組み合わせた4つのブロックで構成されています。各コンピュータに重複しないIPアドレスを個別に割り当てます。
例）192.168.1.1
小規模なネットワークでは、例えば192.168.1.1、192.168.1.2、192.168.1.3・・・と、末尾の番号を変えて設定します。

● サブネットマスク

TCP/IPのネットワーク接続で大規模なネットワークの場合、通常ルータを経由していくつかの小規模なネットワーク(サブネット)に区切られます。IPアドレスはネットワーク部とホスト部から構成され、その切れ目はサブネットマスクによって決定されます。ホスト部のビットが全て0のアドレスをネットワークアドレス、全て1のアドレスをブロードキャストアドレスと呼びます。
このアドレスの範囲内が、そのネットワークでコンピュータを識別できるIPアドレスとなります。
例）ネットワーク1、2という2つの異なるネットワーク上にあるそれぞれのプリンタから印刷する場合、
- ネットワーク1上のプリンタのIPアドレスが「192.168.1.1」
- ネットワーク2上のプリンタのIPアドレスが「192.168.2.1」

とします。サブネットマスクを「255.255.255.0」と設定すると、それぞれのネットワークアドレスは「192.168.1.0」「192.168.2.0」となり、異なるネットワークだと判断されます。このような場合はルータを経由してアドレス変換を行う必要があります。
次に、サブネットマスクを「255.255.0.0」と設定すると、ネットワークアドレスが両方とも「192.168.0.0」となり、同一のネットワーク内の通信と判断されますので、この場合はルータを使用する必要はありません。

● ゲートウェイ（ルータ）

ネットワークとネットワークとを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを経由して送信されるデータを正確に目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内のデータの送り先が外部のネットワーク宛であれば、ルータはそのデータを外部に送り出します。

● ノード名（NetBIOS 名）

従来のBRAdmin Professionalやネットワーク設定ページなどで表示される本機の名称で、デフォルトでは「BRN_xxxxxx」となっています。（「xxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の末尾の6桁です。）

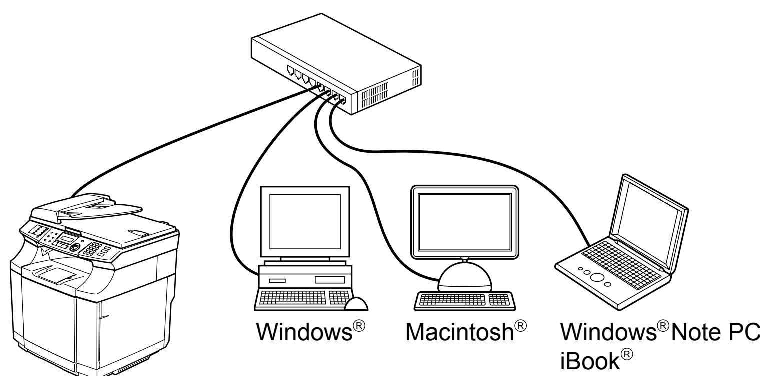
ネットワークの接続

接続方法

接続方法は、各コンピュータから直接本機と通信して印刷する方法（ピアツーピア）と、本機に接続されているコンピュータを経由して印刷する方法（ネットワーク共有）があります。

ピアツーピア接続

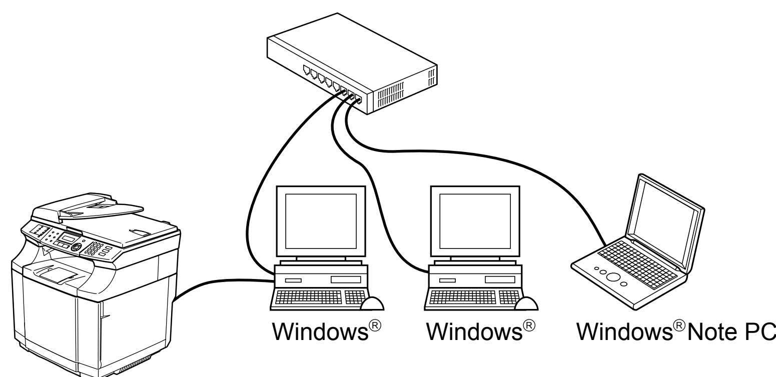
各コンピュータにプリンタポートの設定をします。



補足
●本書ではピアツーピア接続の設定方法について記載しています。

ネットワーク共有

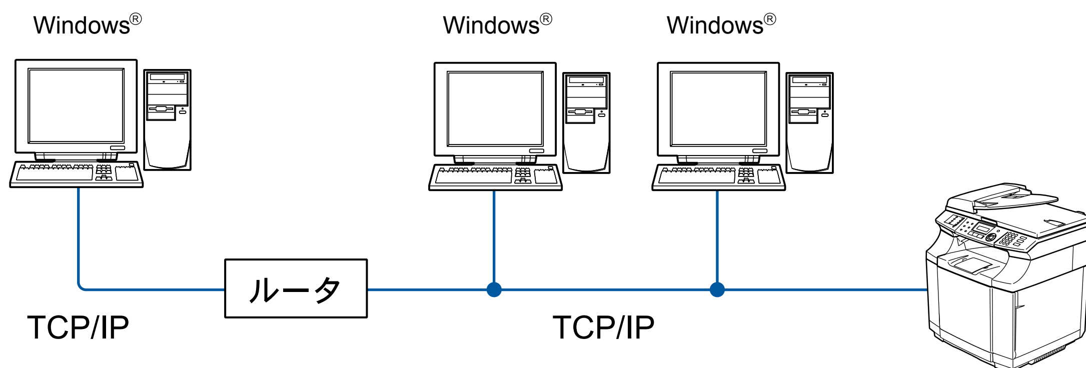
プリンタに直接接続されているコンピュータのみプリンタポートを設定し、そのコンピュータを経由して他のコンピュータも本機を共有できます。ただし、本機に接続されているコンピュータの電源が入っていないと、他のコンピュータは本機を使用できません。



補足
●ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

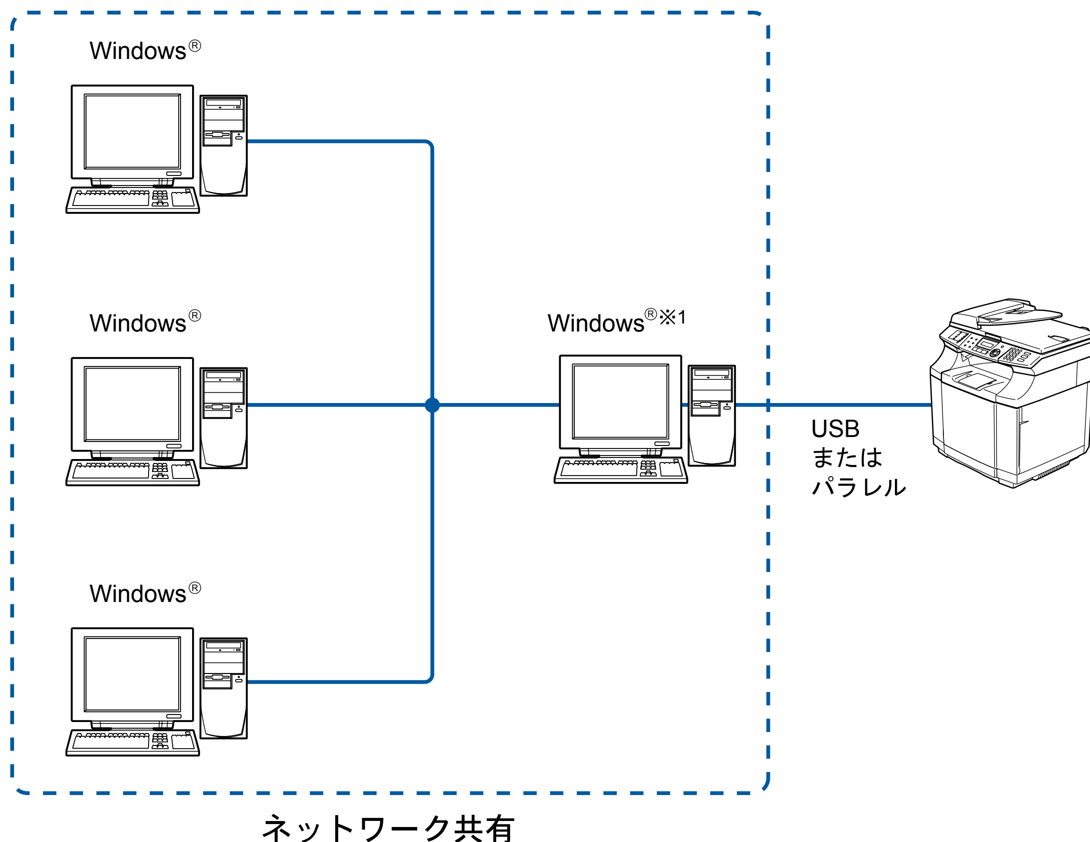
接続例

接続例1：ピアツーピア（TCP/IP）



- 各コンピュータにTCP/IPと印刷プロトコルの設定を行います。
- 本機にもIPアドレスを設定する必要があります。
- すでにTCP/IPでネットワークを構築している場合は、この設定をお勧めします。
- ルータがある場合、ルータの先からも利用可能です。（ゲートウェイの設定が必要）

接続例2：ネットワーク共有



- 本機と直接接続するコンピュータ（※1）は、ローカルでプリンタドライバがインストール済みであることが必要です。
- 本機と直接接続するコンピュータ（※1）の電源が入っていなければ、本機を使用できません。
- Windows®のみ設定可能です。

補足

●ネットワーク共有の設定方法については、Windows® オペレーティングシステムの共有プリンタに関する説明やヘルプを参照してください。

ネットワーク接続に必要な環境を整える

本機をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

● ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本機とコンピュータ、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LAN ケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ5E という規格のケーブルです。5E のE は「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ5E のケーブルはカテゴリ5 のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。

また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の 2 種類があります。ストレートケーブルはADSL モデムとコンピュータの接続、コンピュータとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは2 台のコンピュータ同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は10BASE-T/100BASE-TX とも100m となっているため、それ以下になるようにしてください。

● ハブ

複数台のコンピュータなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に 10BASE-T で使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TXや1000BASE-Tに使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。

ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

● ルータ

ADSL やCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のコンピュータから同時にインターネットに接続することができるようになります。ルータを使用すると、接続した各機器に自動でIPアドレスを割り当てるDHCP機能や、LAN内の独自のIPアドレス（プライベートIPアドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用のIPアドレス（グローバルIPアドレス）を割り当てるNAT機能があります。

さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

IPアドレスを決める

● IP アドレスとは

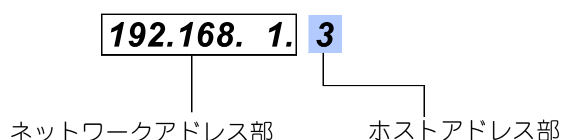
IP アドレスは、接続しているコンピュータの住所にあたるものです。TCP/IP ネットワークに接続するコンピュータなどの機器（ノード）には、必ずIP アドレスを割り当てる必要があります。

IP アドレスは、0 ～255 までの数字を「.（ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。

ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IP アドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	***IP アドレス***
255.255.255.0	***サブネットマスク***

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された"0"と"255"を除いた1 ～254 の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本機を追加する場合は、ホストアドレス部が重複しないようにしてください。

補足

●予約されているアドレス
上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本機に割り当てることはできません。

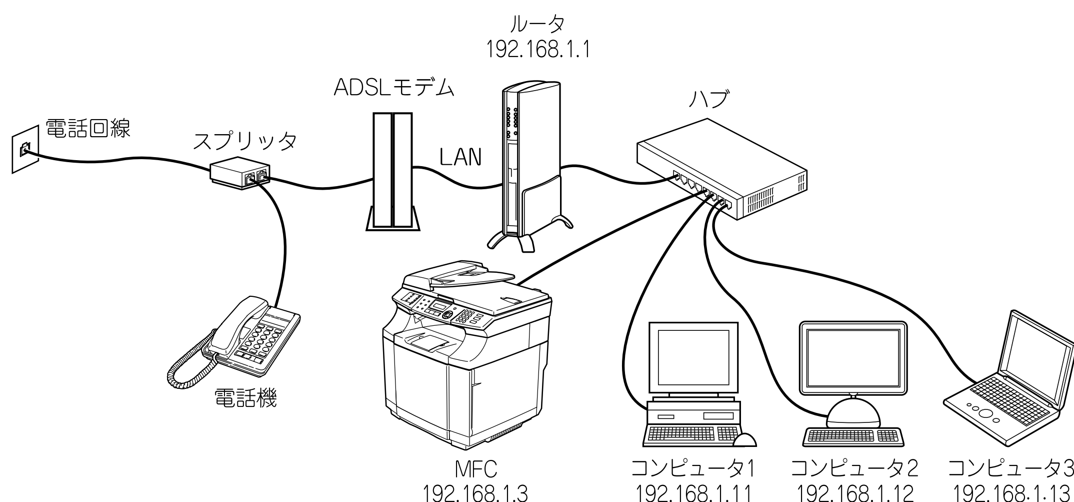
● IP アドレスの決め方

本機を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルータなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IP アドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。

ルータのLAN 側IP アドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本機やコンピュータにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器のIP アドレスを設定してください。

例）

機器名 (ノード)	IP アドレス	サブネットマスク
ルータ	192.168.1.　1	255.255.255.0
本機	192.168.1.　3	255.255.255.0
コンピュータ 1	192.168.1.11	255.255.255.0
コンピュータ 2	192.168.1.12	255.255.255.0
コンピュータ 3	192.168.1.13	255.255.255.0



補足

● ネットワーク管理者がいるときは
事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できるIP アドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。

● ネットワーク内にルータがあるときは
ルータにもIP アドレスが割り当てられています。そのIP アドレスを本機またはコンピュータに設定しないでください。ルータのIPアドレスはルータの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● DHCP環境でお使いの場合
ルータ以外にDHCPサーバが設置されているときは、ルータのDHCPサーバ機能を無効にするか、本機のIPアドレス取得方法を「Static」にしてください。P.27
ルータについては、かんたん設置ガイドP.31を参照してください。

基本編

2章

操作パネルでネットワークの設定をする

操作パネルについて

この章では、操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、ネットワークを設定する方法について説明します。

操作ボタン

本機の操作パネルのボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくてもネットワークの各設定項目を修正できます。

● アルファベット入力について

アルファベットを入力するときは、アルファベット入力モードに切り替えます。

- アルファベットを入力する

  アルファベット入力モードに切り替えるには、▼シフト を押したまま 1 を押します。アルファベット入力モードでは、ダイヤルボタンを使用してメールアドレスなどの入力ができます。入力できる文字の一覧は下表にまとめています。
  ダイヤルボタンを表にある回数押すことで、そのボタンに割り当てられた文字を入力することができます。[⁎] と [#] には記号が割り当てられています。

ダイヤルボタン文字対応表

ボタン ＼ 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	@	.	/	1													
2	A	B	C	2													
3	D	E	F	3													
4	G	H	I	4													
5	J	K	L	5													
6	M	N	O	6													
7	P	Q	R	S	7												
8	T	U	V	8													
9	W	X	Y	Z	9												
0	0																
⁎	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/	€
#	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_						

- カーソルを移動する

  ◀または▶をお使いください。

- 入力した文字を修正する

  誤って入力した場合は、◀を押して間違った文字にカーソルを合わせ、正しい文字を入力しなおしてください。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、ダイヤルボタンやワンタッチダイヤルなどで入力した文字を表示します。

操作パネルを使用すれば、「LAN」設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。
(Menu Set)を押し、(6)または(▲▼)でLANを選択してください。



このようにLANのメインメニューへ入ることができます。下記の8つの項目からそれぞれの設定画面に移ることができます。

- 1. TCP/IP設定.. P.26 を参照してください。
- 2. インターネット設定.......................... P.36 を参照してください。
- 3. メール受信設定................................. P.41 を参照してください。
- 4. メール送信設定................................. P.46 を参照してください。
- 5. リレー配信設定................................. P.49 を参照してください。
- 6. その他の設定.................................... P.52 を参照してください。
- 7. スキャンEメール設定........................ P.54 を参照してください。
- 0. LAN設定の初期化.............................. P.56 を参照してください。

補足

●一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本機に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、Windows®コンピュータをお使いの場合は、本機に同梱のCD-ROMに収録されているBRAdmin Professionalを、Macintosh®をお使いの場合は、BRAdmin Lightをウェブサイトからダウンロードしてご使用いただくことで同様に設定が可能です。

TCP/IPの設定

TCP/IPを使用して印刷するには、本機にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルータの先に本機が接続されている場合は、ルータのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

補足

●本機のお買い上げ時のデフォルトは、次の通りです。
- IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）
- パスワード：access

注意

■DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用していない場合は、デフォルトのIPアドレスは192.0.0.192になります。

■DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように、IP の設定方法を手動（static（固定））に設定します。P.27

このメニューは9つの項目で構成されています。

- IP取得方法
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- WINS設定
- WINSサーバ
- DNSサーバ
- APIPA

補足

●TCP/IPを設定する他の方法
- ウェブブラウザを使用する場合はP.117を参照してください。
- その他TCP/IPを設定する方法はP.129を参照してください。

IP取得方法

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

で選択して で決定することも可能です。

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN

3 、 **の順に押す**

TCP/IP セッテイ
1.IP シュトク ホウホウ

4  **を押して「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」のいずれかを選択する**

お買い上げ時は「Auto」になっています。

IP シュトク ホウホウ
Static

5  **を押す**

IP アドレス取得方法が確立されます。

IP シュトク ホウホウ
ウケツケマシタ

6  **を押す**

設定メニューを終了します。

補足

●IP 取得方法を「Auto」に設定すると、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の順にネットワーク内の IP アドレス配布サーバを探して、IP アドレスを取得します。これらのサーバが見つからなかった場合は、「APIPA」機能により、IP アドレスが自動的に割り当てられます。

IPアドレス

本機の現在のIPアドレスが表示されます。お買い上げ時はAPIPAにより自動的に割り当てられています。IPアドレスを変更する場合は、IP取得方法をStatic（手動）に指定してください。
Static以外のIP取得方法が選ばれている場合は、DHCPまたはBOOTPのプロトコルを使用してIPアドレスを自動的に取得します。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



1、2 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
2.IP アト゛レス
```



1 を押す

2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```



「IP　アドレス」を入力する

右記は例です。

```
IP アト゛レス
192.168.001.003
```



Menu/Set を押す

IP アドレスが登録されます。

```
IP アト゛レス
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

サブネットマスク

本機の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
6.LAN
```



1、3 の順に押す

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
3.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
```



1 を押す

2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```



サブネットマスクを入力する

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
255.255.255.000
```



Menu/Set を押す

サブネットマスクが登録されます。

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本機の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCPやBOOTP、APIPAを使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルータを使用しない場合は初期値(000.000.000.000)にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。



Menu Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



1、4 の順に押す

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1.スル　2.シナイ」と表示されます。そのときは 1 を押します。2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
TCP/IP セッテイ
4.ゲ゛ートウェイ
```



ゲートウェイアドレスを入力する

右記は例です。

```
ゲ゛ートウェイ
192.168.001.001
```



Menu Set を押す

ゲートウェイアドレスが登録されます。

```
ゲ゛ートウェイ
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

ノード名（NetBIOS名）

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINSサーバに登録されているNetBIOS名になります）。
Brother の推奨はBRN_xxxxxx（xxxxxxはMACアドレスの末尾6 桁）です。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
6.LAN
```

3  、5 **の順に押す**

```
TCP/IP ｾｯﾃｲ
5.ﾉｰﾄﾞ ﾒｲ
```

4  **を押す**

2 で設定メニューへ戻ります。

```
BRN_xxxxxx
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

5 **ノード名を入力する**

```
ﾉｰﾄﾞ ﾒｲ
BRN_xxxxxx
```

6  **を押す**

ノード名が登録されます。

```
ﾉｰﾄﾞ ﾒｲ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

7  **を押す**

設定メニューを終了します。

WINS設定

この項目で本機がWINSをどのように解決するかを設定します。

Auto

DHCPサーバから自動的にプライマリー、セカンダリーのWINSサーバアドレスを取得します。Boot MethodがAUTOに設定されている必要があります。

Static

手動でWINSサーバアドレスを設定します。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ センタク/セットボ タン
6.LAN
```



1、6 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
6.WINS セッテイ
```



▲▼を押して「Auto」、「Static」のどちらかを選択する

お買い上げ時は「Auto」になっています。

```
WINS セッテイ
Auto
```



Menu/Set を押す

WINS 設定が登録されます。

```
WINS セッテイ
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

WINSサーバ

WINSサーバの設定をします。

● プライマリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリWINS（Windows® Internet Naming Service）サーバのIPアドレスを登録します。

● セカンダリ WINS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリWINS（Windows® Internet Naming Service）サーバのIPアドレスを登録します。セカンダリWINSサーバはプライマリWINSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからないときに機能します。
ネットワーク内にセカンダリのWINSサーバが存在しない場合は入力しなくても構いません。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択してMenu/Setで決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



1、7 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
7.WINS サーバ゛
```



▲▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の WINS サーバを選択する

```
WINS サーバ゛
プ゛ライマリ
```



Menu/Set を押す

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1.スル　2.シナイ」と表示されます。そのときは1を押します。2を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```



WINS サーバのアドレスを入力する

```
WINS サーバ゛
000.000.000.000
```



Menu/Set を押す

WINS サーバのアドレスが登録されます。

```
WINS サーバ゛
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

DNSサーバ

DNS（ドメインネームシステム)サーバの設定をします。

● プライマリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でプライマリDNS（Domain Name System）サーバのアドレスを指定します。

● セカンダリ DNS サーバ IP アドレス

この項目でセカンダリDNSサーバのアドレスを指定します。セカンダリDNSサーバはプライマリDNSサーバの機能の一部を補完し、プライマリサーバが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい環境で使用する場合に設定してください。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



1、8 の順に押す

```
TCP/IP セッテイ
8.DNS サーバ゛
```



▲▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の DNS サーバを選択する

```
DNS サーバ゛
プ゜ライマリ
```



Menu/Set を押す

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。そのときは 1 を押します。2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```



DNS サーバのアドレスを入力する

```
DNS サーバ゛
000.000.000.000
```



Menu/Set を押す

DNS サーバのアドレスが登録されます。

```
DNS サーバ゛
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

APIPA

接続したネットワークの環境に合わせたTCP/IP設定を自動的に行います。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

で選択してで決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 、9 **の順に押す**

```
TCP/IP セッテイ
9.APIPA
```

4  **を押して「On」、「Off」のどちらかを選択する**

お買い上げ時は On に設定されています。

```
APIPA
On
```

5  **を押す**

APIPA の設定が登録されます。

```
APIPA
ウケツケマシタ
```

6 

を押す

設定メニューを終了します。

インターネットの設定

インターネットファクス機能を利用するには、本機に以下の5つの項目を設定する必要があります。

- メールアドレス
- SMTPサーバ
- POP3サーバ
- アカウント名
- パスワード

補足

●お使いのウェブブラウザを使って設定することもできます。詳しくは、P.118 を参照してください。

メールアドレス



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択してMenu/Setで決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



2、1 の順に押す

```
インターネット セッテイ
1.メールアト゛レス
```



1 を押す

2で設定メニューへ戻ります。

```
XXXXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```



メールアドレスを入力する

```
メールアト゛レス
XXXXX
```

補足

●入力できる文字
ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。詳しくはP.24 を参照してください。
メールアドレスは、最大60文字まで入力できます。



Menu/Set を押す

メールアドレスが登録されます。

```
メールアト゛レス
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

SMTPサーバ

この項目でネットワーク上のSMTPメールサーバ（送信用サーバ）のIPアドレスまたはサーバ名を指定します。この項目はインターネットファクス機能を使用する上で正しく入力されている必要があります。
（例：mail.xyz.comまたは192.168.001.099）

1 **Menu Set を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **6 を押す**

▲▼で選択して Menu Set で決定することも可能です。

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
6.LAN
```

3 **2 、2 の順に押す**

```
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ ｾｯﾃｲ
2.SMTP ｻｰﾊﾞ
```

4 **▲▼を押して「IP アドレス」、「サーバメイ」のどちらかを選択する**

```
SMTP ｻｰﾊﾞ
IP ｱﾄﾞﾚｽ
```

5 **Menu Set を押す**

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。そのときは 1 を押します。2 を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

6 **「IP アドレス」を選択した場合は、SMTP サーバのアドレスを入力する**
「サーバメイ」を選択した場合は、SMTP サーバのサーバ名を入力する

サーバ名は、最大 30 文字まで入力できます。

```
SMTP ｻｰﾊﾞ
192.168.001.099
```

```
SMTP ｻｰﾊﾞ
XXXXX
```

7 **Menu Set を押す**

SMTP サーバのアドレスまたはサーバ名が登録されます。

```
SMTP ｻｰﾊﾞ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

8 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

POP3サーバ

この項目でネットワーク上のPOP3メールサーバ（受信用サーバ）のIPアドレスまたはサーバ名を指定します。この項目はインターネットファクス機能を使用する上で正しく入力されている必要があります。
（例：pop.xyz.comまたは192.168.001.099）

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

で選択してで決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 、3 **の順に押す**

```
インターネットセッテイ
3.POP3 サーバ゛
```

4  **を押して「IP アドレス」、「サーバメイ」のどちらかを選択する**

```
POP3 サーバ゛
IP アト゛レス
```

5  **を押す**

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1.スル　2.シナイ」と表示されます。そのときは1を押します。2を押すと、設定画面へ戻ります。

```
XXX.XXX.XXX.XXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

6 **「IP アドレス」を選択した場合は、POP3 サーバのアドレスを入力する**
「サーバメイ」を選択した場合は、POP3 サーバのサーバ名を入力する

サーバ名は、最大 30 文字まで入力できます。

```
POP3 サーバ゛
192.168.001.099
```

```
POP3 サーバ゛
XXXXX
```

7  **を押す**

POP3 サーバのアドレスまたはサーバ名が登録されます。

```
POP3 サーバ゛
ウケツケマシタ
```

8  **を押す**

停止/終了

設定メニューを終了します。

アカウント名

メール受信用サーバ（POP3 サーバ）にアクセスするためには、アクセス用アカウントとパスワードが必要になります。ここでは、アクセス用アカウント名（ユーザー名）の設定をします。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

で選択して で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 、④ **の順に押す**

```
インターネット セッテイ
4.アカウント メイ
```

4  **を押す**

② で設定メニューへ戻ります。

```
XXXXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

5 **本機に割り当てられているメールアカウントのアカウント名を入力する**

```
アカウント メイ
XXXXX
```

補足

●入力できる文字
ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。詳しくはP.24を参照してください。
アカウント名は、最大20文字まで入力できます。

6  **を押す**

アカウント名が登録されます。

```
アカウント メイ
ウケツケマシタ
```

7  **を押す**

設定メニューを終了します。

パスワード

メール受信用サーバ（POP3 サーバ）にアクセスするためには、アクセス用アカウントとパスワードが必要になります。ここでは、アクセス用アカウントと対になるパスワードの設定をします。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 、5 **の順に押す**

```
インターネット セッテイ
5.パ゜スワート゛
```

4 **POP3 サーバにアクセスするためのパスワードを入力する**

```
パ゜スワート゛
パ゜スワート゛:XXXXX
```

補足

●入力できる文字
　ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。詳しくはP.24を参照してください。
　パスワードは、最大20文字まで入力できます。

5  **を押す**

6 **再度パスワードを入力する**

```
パ゜スワート゛
パ゜スワート゛ カクニン:
```

7  **を押す**

パスワードが登録されます。

```
パ゜スワート゛
ウケツケマシタ
```

8  **を押す**

設定メニューを終了します。

補足

●設定したパスワードを変更する場合は、手順 1 ～ 3 を実行後、「ヘンコウ　1. スル　2. シナイ」の画面が表示されてから 1 を押して手順4以降を実行してください。

メール受信の設定

本機でメールを受信するには、以下の5つの項目を設定する必要があります。

- 自動受信
- ポーリング間隔
- ヘッダ印刷
- エラーメール削除
- 受信確認

補足

●お使いのウェブブラウザを使って設定することもできます。詳しくは、P.118を参照してください。

自動受信（自動メールチェック機能）

自動受信を「On」に設定すると、本機は次項の「ポーリング間隔」で設定した時間ごとにPOP3サーバへメールチェックします。もしメールがなければ「メール　ハ　アリマセンデシタ」と表示されます。

1 Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 3、1 の順に押す

```
メール ジ゛ュシン セッテイ
1.ジ゛ト゛ウジ゛ュシン
```

4 ▲▼を押して「On」、「Off」のどちらかを選択する

お買い上げ時は、「On」に設定されています。

```
ジ゛ト゛ウジ゛ュシン
On
```

5 Menu/Set を押す

自動受信の設定が登録されます。

```
ジ゛ト゛ウジ゛ュシン
ウケツケマシタ
```

6 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

ポーリング間隔（自動メールチェックの頻度）

POP3サーバに対し、何分ごとにメールチェックするかを指定します。初期設定では10分です。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

で選択してで決定することも可能です。

```
▲▼ﾃﾞｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
6.LAN
```

3 、2 **の順に押す**

```
ﾒｰﾙ ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
2.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｶﾝｶｸ
```

4 メールボックスのチェック頻度を、分単位で入力する（01 分～ 60 分）

お買い上げ時は、10 分おきに設定されています。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｶﾝｶｸ
10ﾌﾝ
```

5  **を押す**

ポーリング間隔の設定が登録されます。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｶﾝｶｸ
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

6  **を押す**

設定メニューを終了します。

ヘッダ印刷

メール内容のうち、ヘッダ部分を印刷させるかを指定します。初期設定では「ナシ」になっています。

- スベテ......................................ヘッダすべてを印刷
- ヘッダノミ..................................タイトル、あて先、差出人を印刷
- ナシ..なし



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



3、3 の順に押す

```
メール ジ゛ュシン セッテイ
3.ヘッダ゛インサツ
```



▲▼を押して「スベテ」、「ヘッダノミ」「ナシ」のいずれかを選択する

お買い上げ時は、「ナシ」に設定されています。

```
ヘッダ゛インサツ
ナシ
```



Menu/Set を押す

ヘッダ印刷の設定が登録されます。

```
ヘッダ゛インサツ
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

エラーメール削除

エラーメール削除を「On」に設定することで、本機がメールボックスチェック時に、POP3サーバーから取得できなかったメールを削除することができます。



1 Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



2 6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



3 3、4 の順に押す

```
メール ジ゛ュシン セッテイ
4.エラーメールサクジ゛ョ
```



4 ▲▼を押して「On」、「Off」のどちらかを選択する

お買い上げ時は、「On」に設定されています。

```
エラーメールサクジ゛ョ
On
```



5 Menu/Set を押す

エラーメール削除の設定が登録されます。

```
エラーメールサクジ゛ョ
ウケツケマシタ
```



6 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

受信確認

この機能により、インターネットファクス（I-FAX）機能による受信を送信者に通知することができます。

- On........................全てのI-FAXメッセージに対して送信元に受信確認を送付します。
- MDN..................MDN（受信確認リクエスト）機能を使用して送られてきた I-FAX メッセージの送信元に対してのみ受信確認を送付します。
- Off.......................受信確認の送付を一切行いません。

1 **Menu/Setを押す**

選択メニューが表示されます。

2 **6を押す**

▲▼で選択してMenu/Setで決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットホ゛タン
6.LAN
```

3 **3、5の順に押す**

```
メール ジ゛ュシン セッテイ
5.ジ゛ュシンカクニン
```

4 **▲▼を押して「On」、「MDN」、「Off」のいずれかを選択する**

お買い上げ時は、「Off」に設定されています。

```
ジ゛ュシンカクニン
On
```

5 **Menu/Setを押す**

受信確認の設定が登録されます。

```
ジ゛ュシンカクニン
ウケツケマシタ
```

6 **停止/終了を押す**

設定メニューを終了します。

メール送信の設定

本機でメールを送信するには、以下の3つの項目を設定する必要があります。

- メールタイトル
- サイズ制限
- 受信確認要求

補足

●お使いのウェブブラウザを使って設定することもできます。詳しくは、P.118を参照してください。

メールタイトル

コンピュータなどへの送信時に、件名として表示されるテキストです。初期設定では「Internet Fax Job」になっています。

1 Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 4、1 の順に押す

```
メール ソウシン セッテイ
1.メール タイトル
```

4 1 を押す

2 で設定メニューへ戻ります。

```
XXXXX
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

5 送信メールに記載するタイトル情報を入力する

お買い上げ時は、「Internet Fax Job」に設定されています。

```
メール タイトル
XXXXX
```

補足

●入力できる文字
ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。詳しくはP.24を参照してください。
メールタイトルは、最大40文字まで入力できます。

6 Menu/Set を押す

メールタイトルが登録されます。

```
メール タイトル
ウケツケシマシタ
```

7 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

サイズ制限

サイズ制限を「On」にしておくと、1MB を超えるサイズのメールを送信しようしたとき「メモリーガ　イッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。サイズ制限をOnにした場合は、ページを分割して送るなどして、ひとつのメールを1MB以下に抑える必要があります。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



4、2 の順に押す

```
メール ソウシン セッテイ
2.サイズ゛セイゲ゛ン
```



▲▼を押して「On」、「Off」のどちらかを選択する

お買い上げ時は、「Off」に設定されています。

```
サイズ゛セイゲ゛ン
On
```



Menu/Set を押す

サイズ制限の設定が登録されます。

```
サイズ゛セイゲ゛ン
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

受信確認要求

この機能をOnにすることで、インターネットファクス送信時に受信確認要求の情報をあわせて送信します。受信側の機器ではMDN（受信確認機能）の設定が有効になっている必要があります。
詳しくは P.89 を参照してください。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



4、3 の順に押す

```
メール ソウシン セッテイ
3.ジ゛ュシンカクニンヨウキュウ
```



▲▼を押して「On」、「Off」のどちらかを選択する

お買い上げ時は、「On」に設定されています。

```
ジ゛ュシンカクニンヨウキュウ
On
```



Menu/Set を押す

受信確認要求の設定が登録されます。

```
ジ゛ュシンカクニンヨウキュウ
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

リレー配信設定

本機でメールを受信するには、以下の3つの項目を設定する必要があります。

- リレー配信許可
- 許可ドメイン
- リレー配信レポート

補足

●お使いのウェブブラウザを使って設定することもできます。詳しくは、P.118を参照してください。

リレー配信許可

この機能により、インターネット経由で受け取ったドキュメントを通常の電話回線を使用して他のファクス機器に転送することができます。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択してMenu/Setで決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



5、1 の順に押す

```
リレー セッテイ
1.リレー キョカ
```



▲▼を押して「On」、「Off」のどちらかを選択する

お買い上げ時は、「Off」に設定されています。

```
リレー キョカ
On
```



Menu/Set を押す

リレー配信許可の設定が登録されます。

```
リレー キョカ
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

許可ドメイン

最大10件まで本機を経由した転送を許可する信頼できるドメイン名を登録しておくことができます。ここに登録されていないドメインからのインターネットファクスは転送できません。ファクス機器に転送することができます。

補足

●ドメイン名とは
一般的に、例えばtaro@brother.co.jpというメールアドレスの場合、@より後ろのbrother.co.jpがドメイン名ということになります。



Menu Set を押す
選択メニューが表示されます。



6 を押す
▲▼で選択して Menu Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



5、2 の順に押す

```
リレー セッテイ
2.キョカ ト゛メイン
```



▲▼を押してドメインを登録する番号を選択する
10 件まで登録できます。

```
キョカ ト゛メイン
キョカ ト゛メイン01:
```



Menu Set を押す



ドメイン名を入力する

```
キョカ ト゛メイン
キョカ ト゛メイン01:XXXX
```

補足

●入力できる文字
ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。詳しくは P.24 を参照してください。



Menu Set を押す
許可ドメインの設定が登録されます。

```
キョカ ト゛メイン
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す
設定メニューを終了します。

リレー配信レポート

リレー配信転送レポートは、本機を経由して転送が行われたときに出力されます。また、このレポートはネットワーク PC-FAX機能を使用したブラザー製品からのドキュメントの送信確認の際にも出力されます。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**

で選択してで決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 、3 **の順に押す**

```
リレー セッテイ
3.リレー レポ゜ート
```

4  **を押して「On」、「Off」のどちらかを選択する**

お買い上げ時は、「Off」に設定されています。

```
リレー レポ゜ート
On
```

5  **を押す**

リレー配信レポートの設定が登録されます。

```
リレー レポ゜ート
ウケツケマシタ
```

6  **を押す**

設定メニューを終了します。

その他の設定

イーサネット

この設定の変更を有効にするためには、本機を再起動する必要があります。

注意

■誤った設定をした場合、本機にアクセスできなくなることがあります。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



6、1 の順に押す

```
ソノタ セッテイ
1.イーサネット
```



▲▼を押してリンクモードを選択する

選べるモードは以下のとおりです。
（お買い上げ時は Auto に設定されています）

- Auto
- 100B-FD
- 100B-HD
- 10B-FD
- 10B-HD

```
イーサネット
100B-HD
```



Menu/Set を押す

イーサネットの設定が登録されます。

```
イーサネット
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

● Ethernet リンクモードについて

Auto：

100BaseTX（全二重/半二重）、10BaseT（全二重/半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：

それぞれのリンクモードに固定されます。

- 100B-FD　：100BaseTX Full Duplex
- 100B-HD　：100BaseTX Half Duplex
- 10B-FD　：10BaseT Full Duplex
- 10B-HD　：10BaseT Half Duplex

タイムゾーン

お住まいの国のタイムゾーンを設定します。ここで設定される値は、世界標準時間との時差になります。(例：日本　UTC+9:00)
ここで設定したタイムゾーンは、インターネット経由で送信したドキュメントに使用されます。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



6、2 の順に押す

```
ソノタ　セッテイ
2.タイムゾ゛ーン
```



▲▼を押してタイムゾーンを設定する

ボタンを押すごとに 30 分ずつタイムゾーンが増減します。

```
タイムゾ゛ーン
UTCXXX:XX
```



Menu/Set を押す

タイムゾーンが登録されます。

```
タイムゾ゛ーン
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

補足

●UTC（協定世界時）
GMT（グリニッジ標準時）とほぼ同じ時刻ですが、全世界で時刻を記録する際に使われる公式な世界標準時刻のことで、1972年1月1日より使用されています。

スキャンEメールの設定

補足

●お使いのウェブブラウザを使って設定することもできます。詳しくは、P.118を参照してください。

モノクロファイルタイプ

スキャンEメールをモノクロで送信するときのファイル形式を設定します。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



7、1 の順に押す

```
スキャン Eメール
1.モノクロ ファイル タイプ゜
```



▲▼を押して「TIFF」、「PDF」のどちらかを選択する

お買い上げ時は、「TIFF」に設定されています。

```
モノクロ ファイル タイプ゜
TIFF
```



Menu/Set を押す

モノクロファイルタイプの設定が登録されます。

```
モノクロ ファイル タイプ゜
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

カラーファイルタイプ

スキャンEメールをカラーで送信するときのファイル形式を設定します。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



6 を押す

▲▼で選択して Menu/Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```



7、2 の順に押す

```
スキャン Eメール
2.カラー ファイル タイプ゜
```



▲▼を押して「JPEG」、「PDF」のどちらかを選択する

お買い上げ時は、「JPEG」に設定されています。

```
カラー ファイル タイプ゜
JPEG
```



Menu/Set を押す

カラーファイルタイプの設定が登録されます。

```
カラー ファイル タイプ゜
ウケツケマシタ
```



停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

LAN設定の初期化

現在のLAN設定を全て初期化できます。初期化すると本機は自動的に再起動します。

1 **(Menu/Set)を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **(6)を押す**

(▲▼)で選択して(Menu/Set)で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
6.LAN
```

3 **(0)を押す**

```
LAN
0.LANセッテイ リセット
```

4 **(1)を押す**

(2)を押すと、設定メニューに戻ります。

```
LANセッテイ リセット
1.リセット 2.キャンセル
```

5 **(1)を押す**

「オマチクダサイ」と表示され、数秒後に本機が再起動します。

(2)を押すと、設定メニューに戻ります。

```
サイキト゛ウシマスカ?
1.スル 2.シナイ
```

LAN設定内容リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。

1 Menu Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 5 を押す

▲▼で選択して Menu Set で決定することも可能です。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
5.レポ゜ート インサツ
```

3 6 を押す

▲▼で選択して Menu Set で決定することも可能です。

```
レポ゜ート インサツ
6.LANセッテイナイヨウリスト
```

4 モノクロスタート または カラースタート を押す

基本編

3章

Windows®環境でTCP/IPピアツーピア印刷する

LPR（Standard TCP/IP）で印刷する

概要

Windows® 2000/XP、Windows NT®の場合は、TCP/IPプロトコルを使用して、本機から直接印刷出力することができます。ネットワークサーバーなどは経由せずに印刷します。

● 条件

- コンピュータにLANボードが装備され、TCP/IPプロトコルがインストールされていること。
- 本機にIPアドレス、サブネットマスクなどが設定されていること。
- コンピュータと本機が、同一のネットワーク上にあること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. コンピュータに本機の関連付けをします。P.60 を参照してください。

補足

●Windows® 2000/XPの場合
標準でTCP/IPプロトコルがインストールされています。

●Windows NT® 4.0の場合
Windows NT® 4.0にTCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、P.65 を参照してインストールしてください。

プリンタドライバのインストール（Windows® 2000/XP）

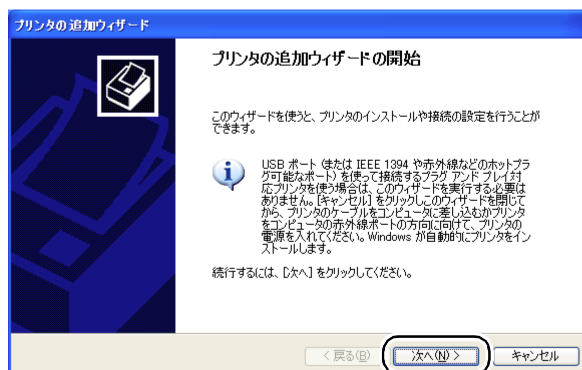
すでにプリンタドライバがインストールされている場合はP.64を参照してください。

1 **［スタート］メニューから［プリンタとFAX］をクリックし、［プリンタのインストール（プリンタの追加）］をクリックする**

- Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

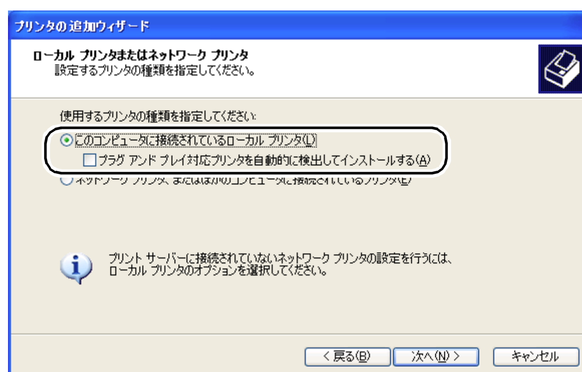
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［次へ］をクリックする**



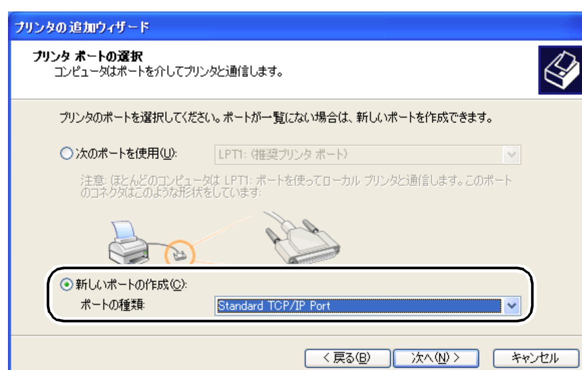
3 **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外す**

Windows® 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］をクリックし、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］チェックボックスを外します。



4 **［次へ］をクリックする**

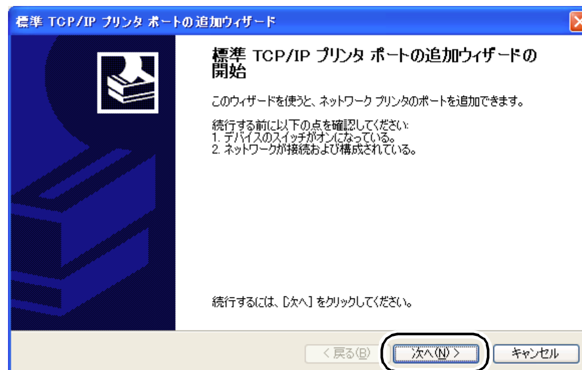
5 **［新しいポートの作成］をクリックし、［Standard TCP/IP Port］を選択する**



6 **［次へ］をクリックする**

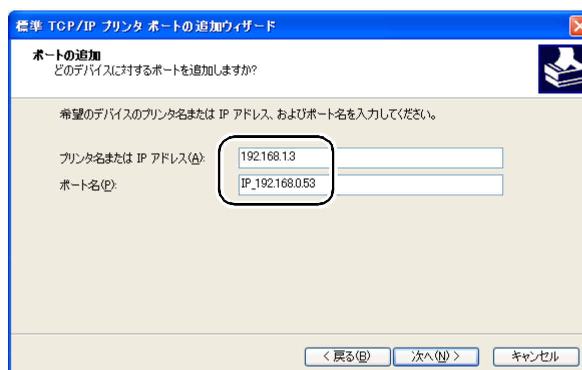
［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

7 ［次へ］をクリックする



8 本機の［プリンタ名または IP アドレス］を入力する

［ポート名］はウィザードによって自動的に入力されます。
例）192.168.1.3 の場合
IP アドレスを入力すると、ポート名には自動的に［IP_192.168.1.3］が入力されます。

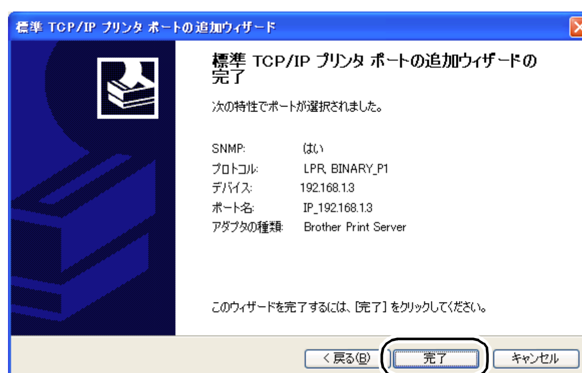


9 ［次へ］をクリックする

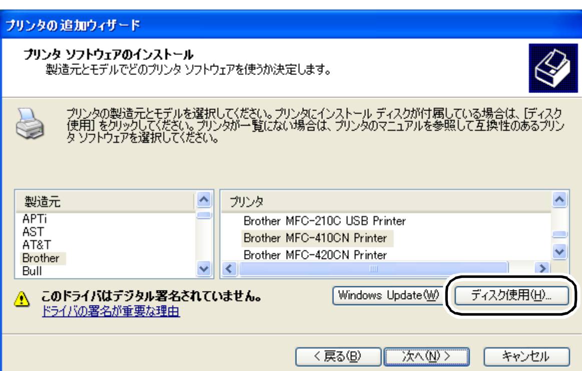
Windows® 2000/XP から指定したプリンタへ接続されます。
指定したアドレスまたはプリンタ名を誤って入力すると、エラーメッセージが表示されます。

10 ［完了］をクリックする

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］を終了し、［プリンタの追加ウィザード］に戻ります。



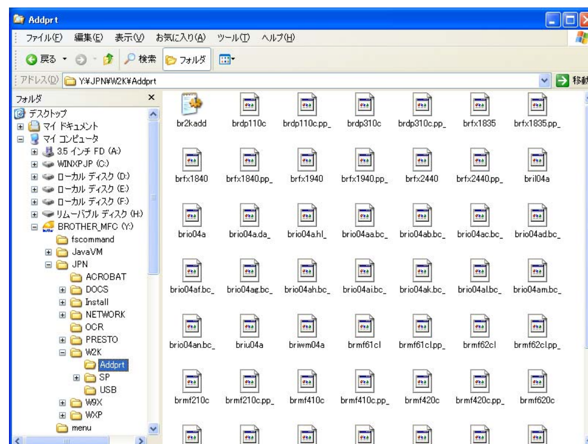
11 ［ディスク使用］をクリックする



12 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックする

13 「ファイルの場所」から CD-ROM ドライブを選び、本機のプリンタドライバの保存フォルダを選ぶ

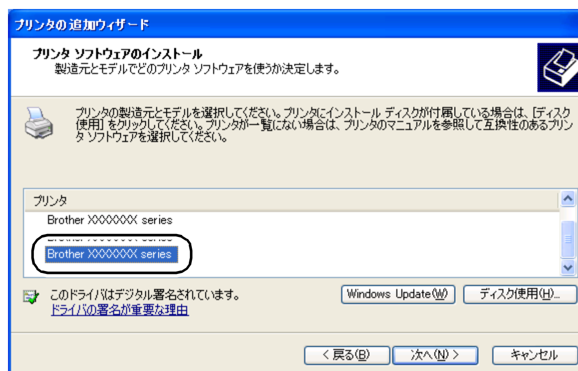
- Windows® 2000　:¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows® XP　:¥JPN¥WXP¥Addprt



14 ［開く］をクリックする

15 ［OK］をクリックする

16 使用するプリンタドライバを指定する



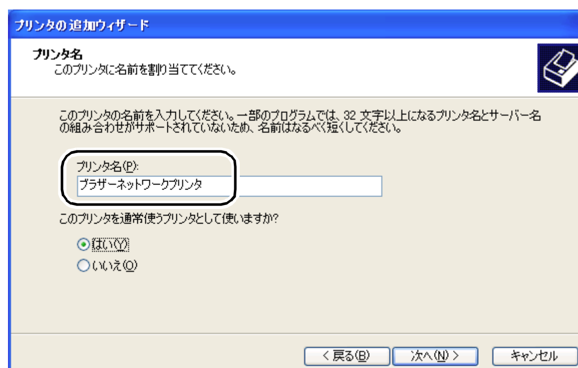
17 ［次へ］をクリックする

補足

- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- ［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

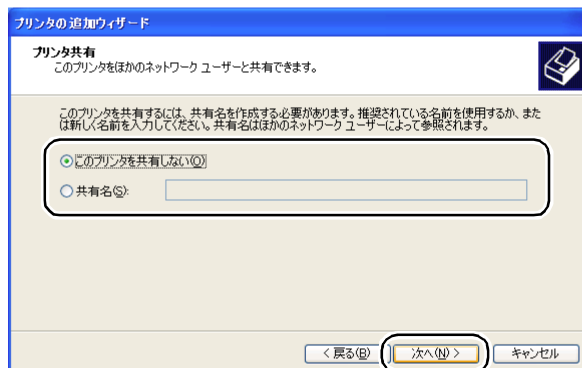
18 必要に応じて、［プリンタ名］を変更する

例）ブラザーネットワークプリンタ



19　複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択して、［次へ］をクリックする

20　このプリンタを共有するかどうかを選択し、共有する場合は［共有名］を入力して、［次へ］をクリックする

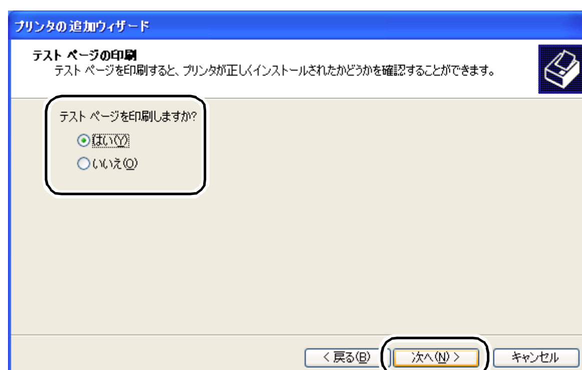


補足

●共有した場合は、必要に応じて［場所］と［コメント］を入力して、［次へ］をクリックします。

21　テスト印刷をするかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

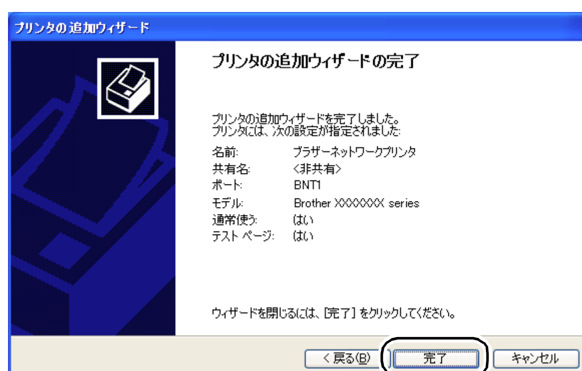
- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるかテスト印刷を行ってください。



22　［完了］をクリックする

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



補足

●プリンタドライバインストール済の場合

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順でTCP/IPポートの追加と本機の関連付けをします。

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリック（Windows® 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリック）し、設定するプリンタをクリックします。

② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ ［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

④ ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。
［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］が表示されます。

⑤ プリンタドライバのインストール手順7～10を実行します。詳しくはP.61を参照してください。

コンピュータの設定（Windows NT® 4.0）

TCP/IPプロトコルの追加

TCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでにTCP/IPプロトコルがインストールされている場合は、P.66 へ進みます。

1 **［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックする**

［ネットワーク］が表示されます。

2 **［プロトコル］タブをクリックし、［追加］をクリックする**

3 **［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックする**

4 **Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックする**

- お使いのコンピュータがWindows NT®プリインストールモデルの場合は、［ディスクを使用]をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROMの¥i386を指定してください。

  必要なデータがコピーされ、［プロトコル］タブに［TCP/IPプロトコル］が追加されます。

5 **［サービス］タブをクリックし、［追加］をクリックする**

6 **［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックする**

7 **Windows NT® セットアップ用の CD-ROM を挿入し、［続行］をクリックする**

- お使いのコンピュータがWindows NT®プリインストールモデルの場合は、［ディスクを使用]をクリックし、コンピュータに付属のリカバリィ CD-ROMの¥i386を指定してください。

  必要なデータがコピーされ、［サービス］タブに［Microsoft TCP/IP印刷］が追加されます。

8 **［プロトコル］タブをクリックする**

9 **［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックする**

10 **ホスト IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ アドレスを設定し、［OK］をクリックする**

入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

11 **［OK］をクリックする**

再起動を促すメッセージが表示されます。

12 **［はい］をクリックする**

コンピュータが再起動されます。
これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

プリンタドライバのインストール

すでにプリンタドライバがインストールされている場合はP.68を参照してください。

1 **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックする**

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする**



注意

■［ネットワークプリンタサーバー］を選択しないように注意してください。

3 **［ポートの追加］をクリックする**



4 **［利用可能なプリンタポート］のリストから［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする**



注意

■前述の［Microsoft TCP/IP 印刷プロトコル］をインストールしていない場合は、［LPR Port］は表示されません。
インストール方法についてはP.65を参照してください。

5 **[lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス :］ボックスに、本機の IP アドレスを入力する**

例）192.168.1.3



補足

- hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームシステムを使用している場合は、IP アドレスではなく、本機のノード名を入力します。本機は、NetBIOS名をサポートしているため、本機のノード名を入力することもできます。
  デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はMACアドレスの末尾の6桁です。

6 **[サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名 :］ボックスに、本機のサービス名を入力する**

- サービス名が分からない場合は、BINARY_P1と入力してください。

7 **[OK］をクリックする**

8 **[閉じる］をクリックする**

［利用可能なプリンタポート］のリストに、本機の IP アドレスが反転表示されます。

9 **[次へ］をクリックする**

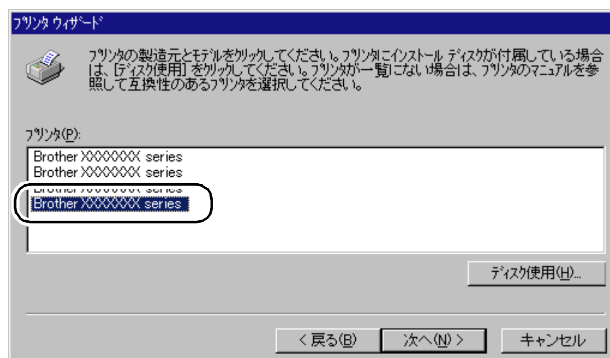


10 **使用するプリンタドライバを指定する**

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。

プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。

- Windows® 2000　:¥JPN¥W2K¥Addprt
- Windows® XP　:¥JPN¥WXP¥Addprt



11 **[次へ］をクリックする**

補足

●すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

12 必要に応じて、［プリンタ名］を変更する

例）ブラザーネットワークプリンタ



13 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

14 本機を共有するかどうかを選択し、印刷に使うコンピュータのオペレーティングシステムを選択し、［次へ］をクリックする

本機を共有する場合は［共有名］を入力してください。



15 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックする

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

［プリンタの追加ウィザード］での設定が終了します。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



補足

●プリンタドライバインストール済の場合
すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次の手順でTCP/IPポートの追加と本機の関連付けをします。
①［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
②［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③［ポート］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ プリンタドライバのインストール手順4～8を実行します。詳しくはP.66を参照してください。

基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークファクス機能を使う
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

LPR（BLP）で印刷する

概要

Windows® 98/Me、Windows NT® 4.0の場合は、TCP/IPプロトコル上のブラザーピアツーピア印刷（LPR）プロトコルを使用して、本機からピアツーピアで直接印刷することができます。

補足

●BLPとはブラザー製Brother LPR Portの略称です。

● 条件

- LANボードが装備され、TCP/IPプロトコルがインストールされていること
- 本機にIPアドレス、サブネットマスクなどが設定されていること。
- コンピュータと本機が、同一のネットワーク上にあること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. コンピュータにブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。P.71 を参照してください。
3. コンピュータに本機の関連付けをします。P.74 を参照してください。

補足

●Windows® 98/Me に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、P.70 を参照してインストールしてください。

●Windows NT® 4.0 に TCP/IP プロトコルがインストールされていない場合は、P.65 を参照してインストールしてください。

コンピュータの設定（Windows® 98/Me）

TCP/IPプロトコルの追加

TCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、下記の手順でインストールしてください。
すでにTCP/IPプロトコルがインストールされている場合は、P.71 へ進みます。

1 **［スタート］から［コントロールパネル］をクリックし、［ネットワーク］をダブルクリックする**

［ネットワーク］が表示されます。

2 **［ネットワークの設定］タブで、［追加］をクリックする**

3 **［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックする**

4 **［製造元］で［Microsoft］を選択し、［ネットワークプロトコル］で［TCP/IP］をクリックする**

5 **［OK］をクリックする**

［現在のネットワークコンポーネント］に［TCP/IP］が追加されます。

補足

- 必要なファイルをコピーするためディスクを挿入する指示が表示された場合は、指示にしたがってフロッピーディスクまたはCD-ROMを挿入してください。

6 **［現在のネットワークコンポーネント］の［TCP/IP］を選択し、［プロパティ］をクリックする**

7 **IP アドレス等の必要な設定を行い、［OK］をクリックする**

入力する情報が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

8 **［OK］をクリックする**

再起動を促すメッセージが表示されます。

9 **［はい］をクリックする**

コンピュータが再起動されます。

これで、TCP/IP プロトコルは追加されました。

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール

ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールします。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

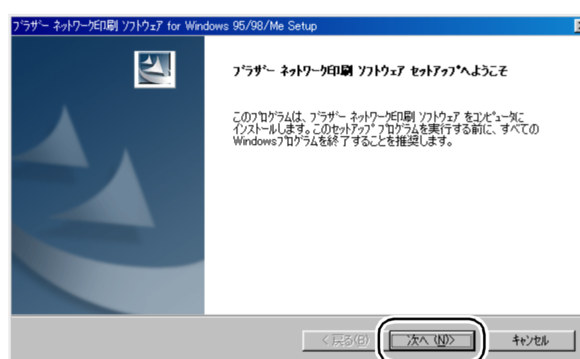
• 画面が表示されないときは「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックして画面を表示させてください。

2 ［追加ソフトウェア］をクリックする

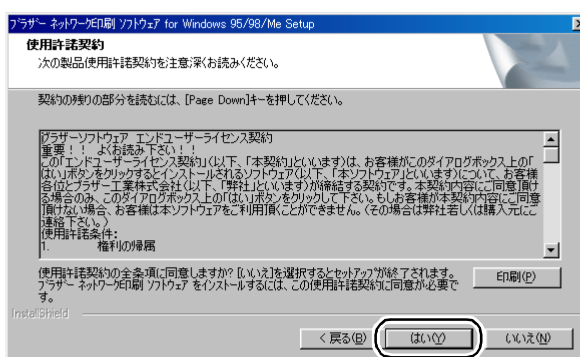
3 ［ネットワーク印刷ソフトウェア］をクリックする

ブラザーネットワーク印刷ソフトウェアインストールプログラムが起動します。

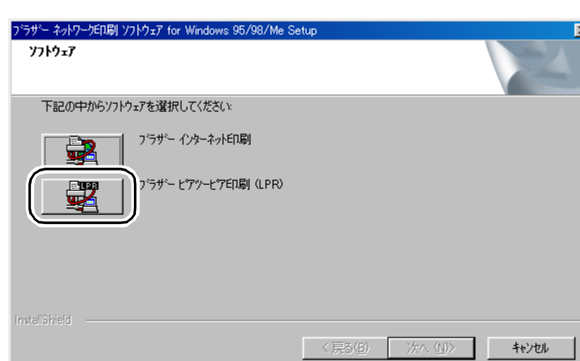
4 ［次へ］をクリックする



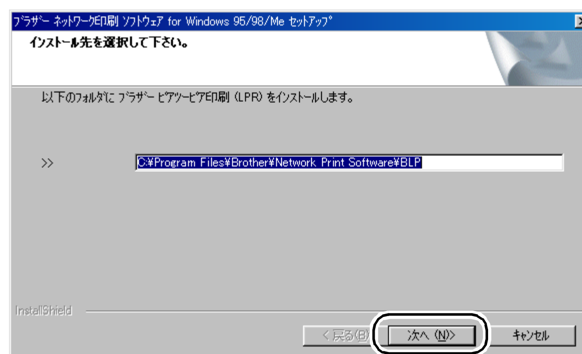
5 使用許諾契約画面の内容をよく読み、［はい］をクリックする



6 ブラザーピアツーピア印刷（LPR）のアイコンをクリックする

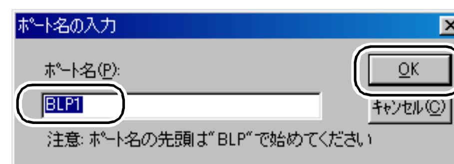


7 インストール先を確認し、[次へ] をクリックする



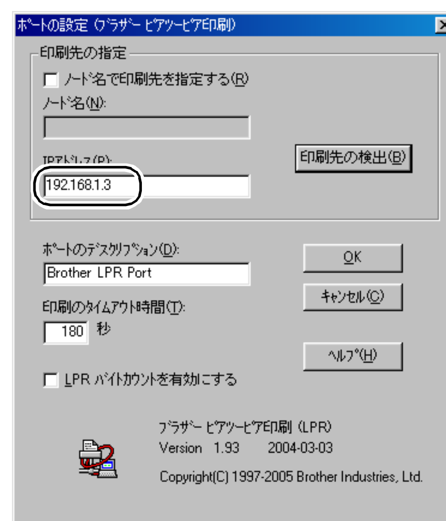
8 使用するポート名を入力し、[OK] をクリックする

デフォルトのポート名は「BLP1」です。別のポート名を使用する場合は、必ず「BLPx」（x は任意の数字）にしてください。



9 [IP アドレス] に、印刷したい本機の IP アドレスを入力する

例）192.168.1.3



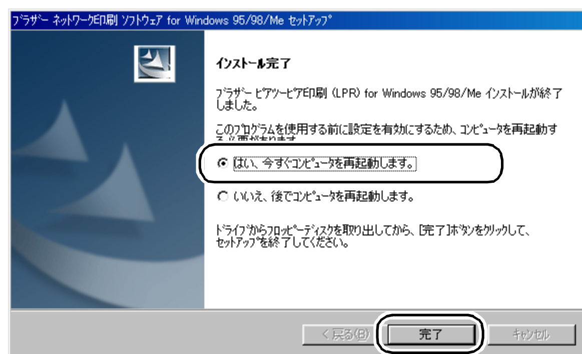
補足

- hosts ファイルを編集した場合、またはドメインネームサービスを使用している場合は、IP アドレスではなく、本機のノード名を入力します。ノード名を入力する場合は、「ノード名で印刷先を指定する」にチェックを入れて本機のノード名を入力してください。
  デフォルトのノード名は「BRN_xxxxxx」で、「xxxxxx」はMACアドレスの末尾の6桁です。
- Windows® 98/MeのhostsファイルはWindowsディレクトリに保存されています。
- Windows® の hosts ファイルのデフォルト名は「hosts.sam」です。このファイルを使用する場合は、ファイル名から拡張子を削除してください。この拡張子“.sam”はサンプルであることを示すものです。

10 [OK] をクリックする

11 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックする

コンピュータが再起動されます。



これで、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストールは完了しました。引き続き、次の手順「プリンタドライバのインストール」へお進みください。

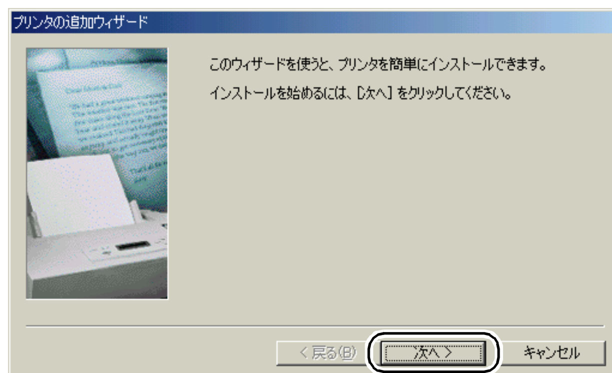
プリンタドライバのインストール

作成したブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートに、本機の関連付けをします。

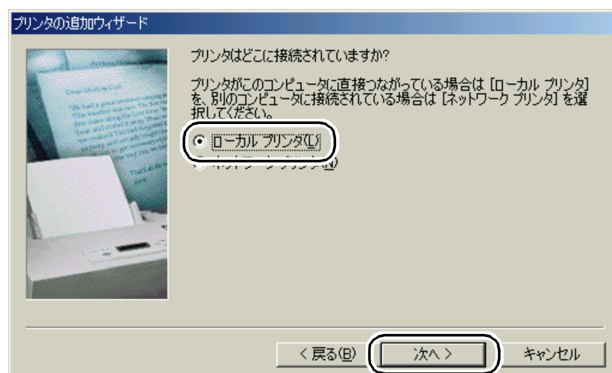
1 **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックする**

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

2 **［次へ］をクリックする**

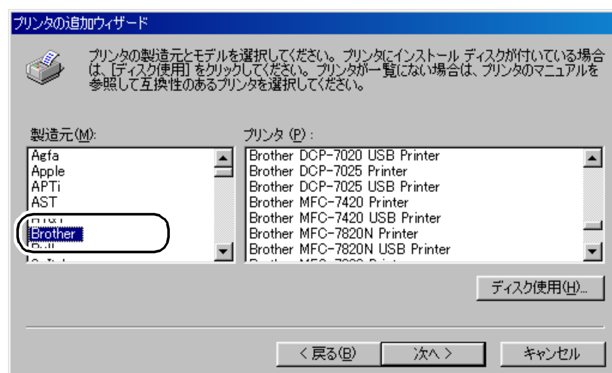


3 **［ローカルプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックする**

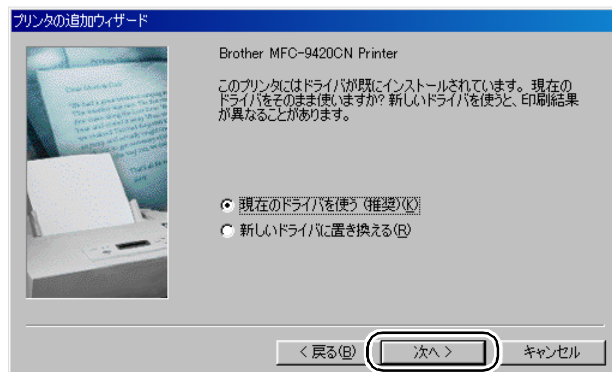


4 **使用するプリンタドライバを指定する**

［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM ￥JPN￥W9X￥Addprt を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。



5 ［次へ］をクリックする



補足

- すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、現在のドライバを使うかどうかを確認するメッセージが表示されます。
  ［現在のドライバを使う（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。既存のドライバがない場合は、このメッセージは表示されません。

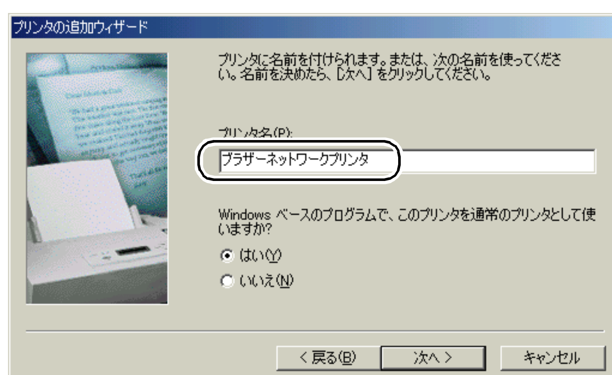
6 「ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアのインストール」の手順９で作成したポートを選択し、［次へ］をクリックする

例）BLP1



7 必要に応じて［プリンタ名］を変更する

例）ブラザーネットワークプリンタ



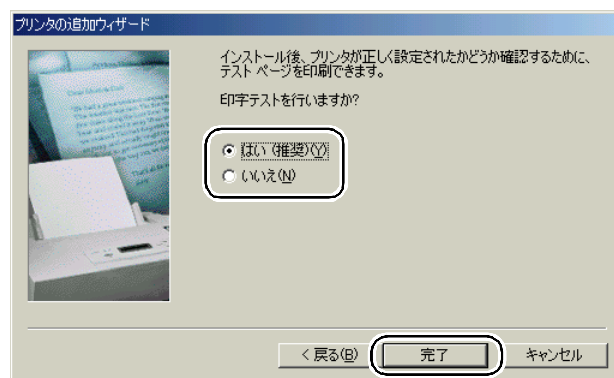
8 複数のプリンタドライバがインストールされている場合は、本機を通常使うプリンタとして使うかどうかを選択し、［次へ］をクリックする

テスト印刷をするかどうかの確認メッセージが表示されます。

9 テスト印刷をするかどうかを選択し、［完了］をクリックする

- ［はい］を選択した場合は、正しく印刷されたか確認してください。
- ［いいえ］を選択した場合は、後で正しく印刷されるか確認してください。

これで、ローカルプリンタと同じように使用することができます。



補足

●ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートの追加
ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ポートを追加するときは、ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアの再インストールは必要ありません。次の手順で追加できます。

① ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、設定するプリンタをクリックします。
② ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
③ ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。
④ ［ポートの追加］の［その他］をクリックし、［Brother LPR Port］を選択します。
⑤ ［OK］をクリックします。
［ポート名の入力］が表示されます。
⑥ P.72 の手順8～10を実行します。

基本編

4章

Macintosh®環境で使用する

設定の流れ

本機は、Mac OS® X 10.2.4以降でサポートされている簡易ネットワーク設定機能に対応しています。
簡易ネットワーク設定機能を使用すれば、ネットワーク上に接続されているプリンタを簡単に使用できるようになります。

● プリントサーバ（本機）の設定

TCP/IPを使用する場合は、プリントサーバに適切なIPアドレスを設定する必要があります。

Mac OS® Xは、APIPA（AutoIP）機能に対応しています。APIPAを使用している環境であれば、プリントサーバもAPIPAを使用して自動的にIPアドレスを割り当てるため、IPアドレスを設定しなくてもプリントサーバを使用できます。

IPアドレスの設定方法についてはP.28を参照してください。

プリントサーバの設定を行う

↓ 必要に応じてプリントサーバに IP アドレスの設定などを行います。わからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

簡易ネットワーク設定機能の設定を行う

ネットワーク上のプリンタをリストアップし、使用できるように設定します。

補足

- Mac OS® X 10.2.4以降の場合
  簡易ネットワーク設定機能を使用するとネットワークプリンタとして利用できます。設定方法については、かんたん設置ガイドP.46を参照してください。
- Mac OS® 9.1～9.2の場合
  Mac OS® 9.1～9.2をお使いの場合の設定方法については、かんたん設置ガイドP.44を参照してください。

ネットワークPC-FAX機能を使う

ネットワークPC-FAX 機能では、アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選び、プリントダイアログで「ファクス送信」を選ぶとPC-FAX ウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX 機能の詳細な説明については、ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）P.137 を参照してください。

ネットワークPC-FAX機能とは

PC-FAX 機能を利用すると、コンピュータ上のアプリケーションで作成したファイルを、ネットワーク上の本機からファクスとして送信できます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめPC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクス送信先を簡単に設定できます。

補足

- ファクスの送信手順やアドレス帳の使い方などについては、ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF 版）P.137 を参照してください。

基本編

5章

ネットワークファクス機能を使う

ネットワークファクス機能とは

注意

■インターネットファクス機能を使うには、SMTP/POP3メールサーバーの設定をしておく必要があります。

ネットワークファクス機能には、本機やお使いのコンピュータから直接インターネットを経由してファクスを送受信するインターネットファクス機能と、プリンタに印刷する感覚でファクス送信できるネットワークPC-FAX機能があります。

インターネットファクス機能

インターネットファクス（I-FAX）機能を使うと、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信できます。本機からインターネットファクスで原稿を送信するときは、TIFF-F形式の添付ファイルとして電子 メール（MIME形式）で通信されます。
ファクス文書が経由するのはインターネットです。

ネットワークPC-FAX機能

ネットワーク PC-FAX 機能を使うと、コンピュータ上のどのようなアプリケーションからでもプリンタに印刷する感覚で、本機から相手先ファクス機器に原稿を送信できます。
また送付書をつけることも可能で、コンピュータ上で送付先の電話帳を管理できるので非常に便利です。
ファクス文書が経由するのは通常の電話線です。

インターネットファクス機能を使う

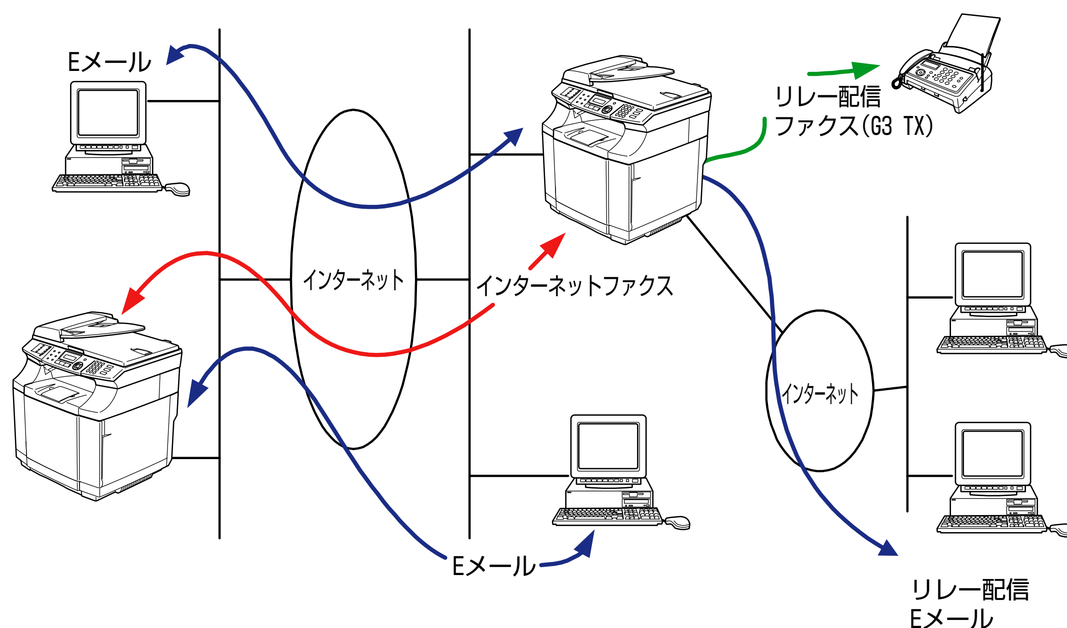
概要

注意

■インターネットファクス送受信は一般的な電話を使用したファクス通信とは下記の点で異なります。

- 受信者の場所、LAN の構造やネットワークの混み具合によりエラーメールが返される時に通常より時間がかかる事があります（通常は20～30秒）。
- 重要機密などの情報の送信についてはインターネットを通じたファクス文書のやり取りよりも一般電話回線を使用したファクス通信をお勧めします。
- 受信側のメールシステムが MIME 形式に対応していない場合はインターネットファクス文書を受信できません。その場合のサーバーメッセージの返信も無いことがあります。
- 送信原稿のサイズが大きすぎる場合、通信が正常に終了しないことがあります。
- 受信したメールのフォントやフォントサイズを変更することはできません。

インターネットファクス（I-FAX）は、インターネットを使ってファクスメッセージを送受信する機能です。本機からインターネットファクスでメッセージを送信するときは、TIFF-F形式の添付ファイルとしてEメール（MIME形式）で送信されます。コンピュータ を使って受信する場合、Windows® ユーザーの方は TIFF-F を閲覧するためビューワーとして Microsoft® Imaging などをお使いください。Windows®ユーザーの方はその他、TIFF-Fが閲覧可能なビューワーをご使用ください。Macintosh®ユーザの方もTIFF-F形式が閲覧可能なビューワーが別途必要となります。



補足

●TIFF-F形式について
ファクス間でやり取りされる標準的な画像形式（TIFF）です。画像処理ソフトなどで使用されているTIFFファイルと比較すると、圧縮形式やページ情報を持っている（複数の画像が一つのファイルになっている）などの点で異なっています。したがって、複数枚のファクスを受信しても1個のファイルに変換できます。

●インターネットファクス（I-FAX）機能で送受信できるものはモノクロTIFF-F形式のファイルのみです。

インターネットファクス送信の準備

● 設定の流れ

インターネットファクス（I-FAX）をご使用いただく前に、本機のネットワークおよびメールサーバーの設定をしておく必要があります。

- IP アドレスを設定します。P.28
  （ネットワークプリンタとして使用されていれば、設定済みです。）
- メールアドレスを設定します。P.36
- SMTP、POP3サーバーアドレスを設定します。P.37 P.38
- アカウント名およびパスワードを設定します。P.39 P.40

これらの設定はウェブブラウザでも設定できます。詳しくはP.118を参照してください。
設定がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

● 操作パネルのボタンについて

操作パネルでのボタン操作は、下記のとおりです。

- シフト ○+1
  入力モードを切り替えます。ダイヤルボタンを使ってアルファベットの入力ができます。
- ダイヤルボタン
  アルファベット、記号（@ . space ! ﾒ # % & ｬ ( ) + / : ; < > = ? [ ] ^ - $, *, _ ）と数字を入力できます。
- シフト ○+3
  大文字、小文字を切り替える場合に使用します。シフト ○+1 で入力モードを切り替えた後しか有効になりません。
- ◀ ▶
  カーソルを移動するときに使用します。
- ▲ ▼
  メニューや選択項目をスクロールするときに使用します。
- Menu Set
  複数の送付先を入力又は選択する場合、ひとつの送付先を入力するごとに続けて押します。
- モノクロスタート
  文書の送信を開始します。
- 停止/終了
  入力した送付先の削除、スキャニングや送信を止めるときに押します。
- ワンタッチボタン
  通常のファクス送信時のボタン操作と同じです。
- シフト ○+ モノクロスタート
  手動でPOP3 サーバーのメールをチェックさせる時に使用します。

インターネットファクスを送る

通常のファクス送信と同じ手順で送信する

短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルボタンにあらかじめインターネットファクス送付先のアドレスが登録されている場合は、通常のファクス送信の手順で送信できます。詳しくは、ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）P.72（Windows®）P.137（Macintosh®）を参照してください。

注意

■画質は操作パネルの[ファクス画質]で選択できます。スタンダード、ファインの各画質を選択できます。カラーでは送信できません。

● サイズ制限

Eメールサーバーによっては大きな容量のメール送信に対し、制限が設けられていることがあります。サイズ制限をONにしておくと、1Mバイトを超えるサイズのメールを送信しようとしたとき「メモリーガイッパイデス」と表示され、メールは送信されず、エラーレポートが出力されます。この場合は、ページを分割して送るなどしてひとつのメールを制限値以下に抑える必要があります。

この設定は操作パネル設定のLANメニューから変更できます。詳しくはP.47を参照してください。

またウェブブラウザでも設定できます。詳しくはP.118を参照してください。

インターネットファクスやEメールを受信する

Eメールメッセージを受信するには二つの方法があります。

- 自動で定期的に確認する
- 手動で確認する

自動で定期確認を設定する

本機を定期的にPOP3サーバーへアクセスさせます。操作パネルのLANメニューを使用してポーリング設定を行った場合、その間隔でメールの確認を行います。設定についてはP.41またはP.42を参照してください。
またウェブブラウザでも設定できます。詳しくはP.118を参照してください。

手動で確認する

手動で本機をPOP3サーバーにアクセスさせ、メールを確認します。



1 **▼シフト ○＋ モノクロスタート を押す**

メールの受信が開始されます。
本機のディスプレイに［ジュシンチュウ］と表示され、受信が完了すると受信したメールの数が表示されます。
メール確認の結果、POP3サーバーにメールが存在しない場合は［メールハアリマセンデシタ］と表示されます。
データを受信し、印刷開始の時点で記録紙トレイに紙が無い場合、受信されたデータは本機内のメモリに保存されます。このデータは記録紙を補充することで自動的に印刷されます（メモリ受信がONに設定されている必要があります）。

注意

- ■受信するメールの本文は半角英数の場合のみ、正しく印刷することができます。（日本語には対応していません。）
- ■受信されたメールがテキスト形式でない場合や、添付ファイルが　TIFF-F　形式でない場合は［サポートシテイナイ　データケイシキファイルメイ：XXXXXX.doc］などのエラーメッセージが印刷されます。
- ■受信されたメールのファイルサイズが大きすぎる場合、［ファイルサイズガ　オオキスギマス］というメッセージが印刷されます。
- ■操作パネルのLANメニューやウェブブラウザでエラーメール削除機能をONに設定している時は、これらのメールはサーバより削除されます。

コンピュータでインターネットファクスを受信する

インターネットファクスで送信した原稿をコンピュータで受信した場合も、本文に送られた文書がインターネットファクス文書であることが記載されています。
送付先のコンピュータがTIFF-Fビューワーをインストールしていない場合、添付ファイルとして送られたメッセージを読むにはTIFF-Fビューワーをインストールする必要があります。
Windows®ユーザーの方はその他、TIFF-Fが閲覧可能なビューワーをご使用ください。
Macintosh®ユーザーの方もTIFF-Fが閲覧可能なビューワーが別途必要となります。

ファクス転送

本機で受信したEメールやファクス文書は、他のEメールアドレス（コンピュータやインターネットファクス機）やファクス機器に自動転送することが可能です。また、通常の電話回線経由で転送することも可能です（この場合はモノクロのみになります）。
詳しくはユーザーズガイド（印刷版）P.104 を参照してください。

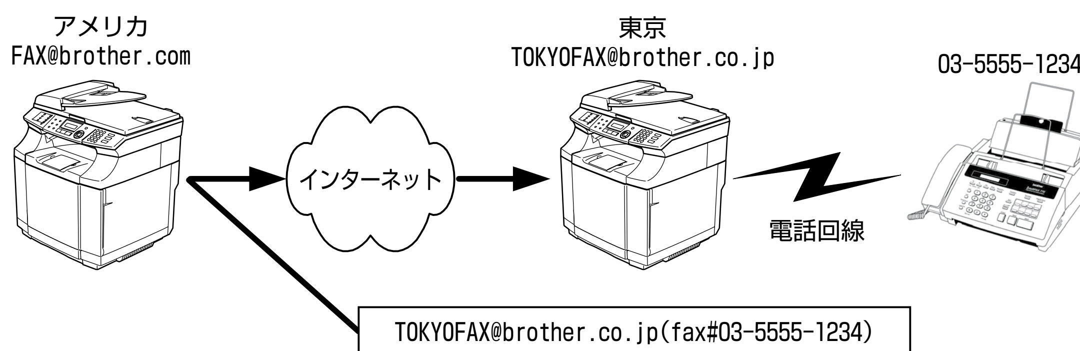
他のファクスを経由して送信する（リレー配信機能）

概要

リレー配信機能を使用すると、インターネットを経由して受けた文書を、通常の電話線を使用して他のファクス機器にリレー送信することができます。
（ただし、ドメイン名を登録し、リレー許可のメニューをONに設定する必要があります。）

補足

● 本機をリレー配信機能の中継点として使用するには、リレー配信データの発信元のドメイン名をあらかじめブラザーファクス本体に登録しておく必要があります。
ドメイン名は、メールアドレスの［@］より後ろの部分です。
例えばtaro@brother.co.jpならドメイン名はbrother.co.jpとなります。
リレー配信機能として中継を許可できるドメイン名を最大10まで登録可能です。操作パネルのLANメニューや、ウェブブラウザから登録ができます。許可されていないドメインに対して本機能は有効ではありません。



中継した後のファクスの送り先として最大48台のファクス機器を同報指定できます。

本機からリレー配信を行う

本機のメールアドレスをFAX@brother.comと想定して、出張先のアメリカから東京にある（例えば支店など）別のブラザーMFC（アドレスをTOKYOFAX@brother.co.jp）を経由して現地の取り引き先などの通常のファクス機器にファクス送信したいような場合、リレー配信機能をお使いいただくと便利です。
その際、東京にあるブラザー MFCにはあらかじめ brother.co.jp ドメインを許可ドメインとして登録しておく必要があります。登録がない場合はリレー配信できません。
日本からリレーメールを送信するためには、下記の例に従ってメールアドレスの後に転送先のファクスナンバーを入力します。

TOKYOFAX@brother.co.jp(fax#03-5555-1234)

Eメールアドレス　　ファクス番号

fax# の文字列が丸括弧内に必ず含まれる必要があります。

複数の人に送信する場合は下記の手順を参考にしてください。

1　**1 台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを入力する**

ワンタッチダイヤルにも登録しておけます。
TOKYOFAX@brother.co.jp（Fax#03-5555-1234）
メールアドレスは最大 60 文字まで入力できます。

2 （Menu/Set）を押す

3 2 台目のリレー配信先を含めたメールアドレスを同様に入力する

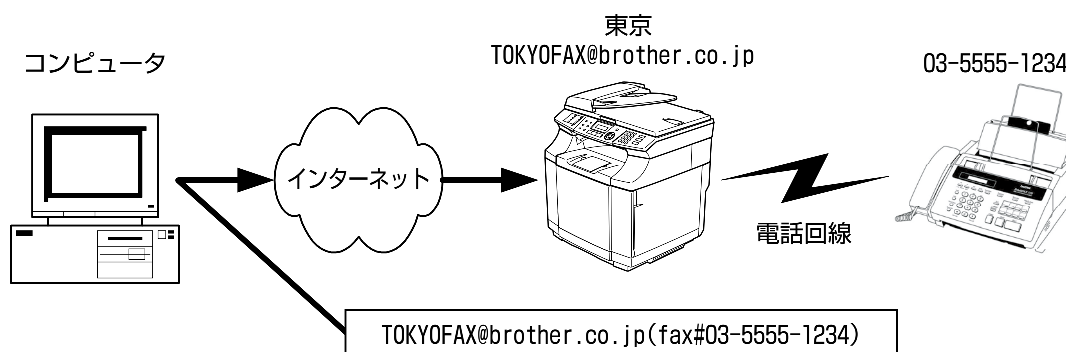
TOKYOFAX@brother.co.jp（Fax#052-555-1234）

4 1 ～ 3 の操作を繰り返して複数台数を登録する

5 モノクロスタート を押して送信する

コンピュータ からリレー配信を行う

お持ちのコンピュータ からＥメールを東京にあるブラザー MFC に送信し、リレー配信機能を使用することもできます。リレー配信先のファクス番号を入力する方法は、お使いのメールソフトにより異なります。



また、ソフトウエアやそのバージョンによっては転送先のファクス番号を含んだメールアドレスの送信/同報に対応していない場合があります。

- **Outlook Express**
- **Netscape Communicator 4.5**
- **Eudora Ver 4.x**
- **Outlook 97/98/2000/2002/2003**

上記のメールソフトについては、送信先アドレスの欄やアドレス帳のメンバー作成時のアドレス欄に下記のように入力してください。

TOKYOFAX@brother.co.jp（fax#03-5555-1234）

（メールソフトによっては上記のとおり入力して［ENTER］ボタンを押すと“fax#03-5555-1234”と表示されることがありますが、正しく送信できます。）

リレー配信機能はネットワークPC-FAX からも使用できます。（Windows®のみ）

補足

●添付文書をリレー配信する場合、ITU-T 勧告による I-FAX フォーマット「T.37」規格に準拠したファイルを添付してください。

受信確認について

本機からメールを送信する場合

送信時に受信確認要求（MDN：Mail Disposition Notification）の情報をあわせて送信すると、受信側のインターネットファクスやメールソフトが受信確認機能に対応している、またはその機能が有効になっている場合、所定の受信確認レポートを自動的に返信します。
これにより正しくメールが届けられたかを知ることができます。

この機能を使用するには

- 受信確認を要求する：　本機のインターネットFAX設定で、「送信設定」の「受信確認要求」をON に設定してください。受信側がMDNに対応している場合に確認レポートが送付されてきます。OFFの場合は受信確認要求を行いません。
- 受信確認要求に応じる：　本機のインターネット FAX 設定で、「受信設定」の「受信確認」を ON（要求が無くてもレポートを送信）または MDN（受信確認要求が受信メールに含まれていた場合のみレポートを返信します）に設定してください。OFF の場合は確認要求に応じません。

詳しい設定方法についてはP.48を参照してください。

エラーメール

エラーによりインターネットファクスが正しく配信されなかった場合、メールサーバーからエラーメッセージが返信され、プリントアウトされます。受信時になにか問題があった場合も、エラーメッセージが出力されます。
（ただし、「ヘッダ印刷」が「ナシ」に設定されているとエラーメッセージは出力されません。）

例：「ジュシンデータ　エラー　：　TIFF-Fケイシキ　デハ　アリマセンデシタ」

ネットワークPC-FAX機能を使う

ネットワークPC-FAX機能では、アプリケーションから印刷を実行し、ドライバとしてBrother PC -FAXを選択するとPC-FAXウィンドウが表示されます。このウィンドウで送信先などを設定します。PC-FAX機能の詳細な説明については、ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）P.70（Windows®）P.137（Macintosh®）を参照してください。

ネットワークPC-FAX機能を使う準備

PC-FAXの関連付け

1 **［スタート］メニューから、［設定］－［プリンタ］の順に選択する**

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **ブラザー PC-FAX のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックする**

3 **「ポート」タブをクリックし、使用するポートを選択する**

複数台のブラザー MFC 製品をご使用の場合は、ネットワーク PC-FAX に使用する MFC 製品をここで指定してください。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



4 **「OK」をクリックする**

これでインストールは完了です。

● **ファクス文書を E メールとしてコンピュータへ送信する**

送信先の欄にメールアドレスを入力するか、またはあらかじめメールアドレスを設定したアドレス帳からメンバーを選択してください。

● **ファクス文書をインターネットファクス機器へ送信する**

あらかじめメールアドレスを設定したアドレス帳からメンバーを選択してください。

● **ネットワーク PC-FAX を使用して通常のファクス機器に電話線を通じてファクスを送信する**

送信先の欄に送付先のファクス番号を入力するか、またはあらかじめファクス番号を設定したアドレス帳からメンバーを選択してください。

Windows®環境でネットワークPC-FAX機能を使う

ファクスを送る

ネットワークPC-FAX機能を使うときは、「ネットワークPC-FAXを使用する」をチェックしておく必要があります。

補足

- 送信可能なファクス文書はモノクロのみです。カラーの文書もモノクロに変換されます。
- Windows® 2000/XPをお使いの場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインしておきます。

● 個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-9420CN］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する**

「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 **個人情報を入力する**

Brother PC-FAX 設定
個人情報 | 送信 | アドレス帳 | ワンタッチダイヤル（ファクススタイル選択時のみ）
名前(N)：
会社名(C)：
部署(D)：
電話番号(P)：
FAX 番号(F)：
E-mail(E)：
住所1(1)：
住所2(2)：
OK　キャンセル

3 **［OK］をクリックする**

個人情報が保存されます。

Brother PC-FAX 設定
個人情報 | 送信 | アドレス帳 | ワンタッチダイヤル（ファクススタイル選択時のみ）
名前(N)：山田　一郎
会社名(C)：山田商店
部署(D)：営業部
電話番号(P)：999-999-9999
FAX 番号(F)：888-888-8888
E-mail(E)：xxxx@yamada.co.jp
住所1(1)：名古屋市中区
住所2(2)：
OK　キャンセル

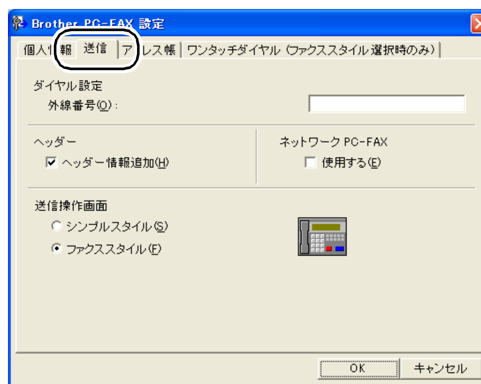
● ネットワーク PC-FAX 使用の設定

1 スタートメニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-9420CN］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］をクリックする

「Brother PC-FAX 設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 「送信」タブをクリックする

- ダイヤル設定
  単独の電話回線へ接続する場合は、何も入力しません。PBX等の内線接続で、外線発信するための番号が指定された環境で使用するときに入力します。
  例）「0」発信の場合は「0」を入力します。
- ヘッダー
  送信するファクスにヘッダー情報を追加する場合は、このボックスにチェックを入れます。



3 ネットワーク PC-FAX 欄の「使用する」をチェックする

4 「OK」をクリックする

● アドレス帳に登録する

ネットワークPC-FAX機能を使ってファクスを送信するには、相手をブラザー PC-FAXアドレス帳にメンバーとして登録する必要があります。
またアドレス帳に登録したメンバーに対して、複数の送信方法を設定することができます。

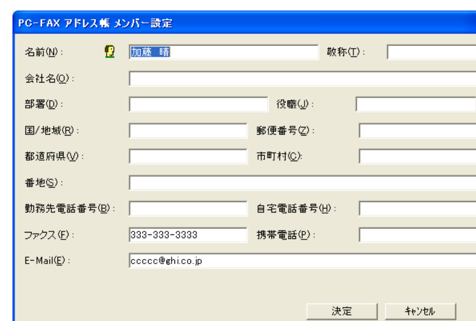
1. ファクスとして送信する
2. Eメールアドレスに添付ファイルとして送信する

1 ブラザー PC-FAX アドレス帳画面で、[アイコン] をクリックする

メンバー登録画面が表示されます。

2 登録するメンバーの情報を入力する

「名前」欄と「ファクス番号」欄は必ず入力してください。
相手先の E メールアドレスも入力できます。



補足

● 入力した相手先はFAX番号、Eメールアドレスの順に検索され、送信されます。

3 「決定」をクリックする

メンバーが登録されます。

補足

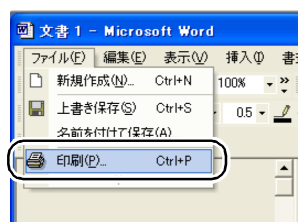
●相手先への送信方法を指定したい場合は、ファクス送信用、E メール送信用にそれぞれメンバー登録してください。

● ファクスを送る

1 アプリケーションでファクス送信したい原稿を開く

2 アプリケーションの「ファイル」メニューから「印刷」をクリックする

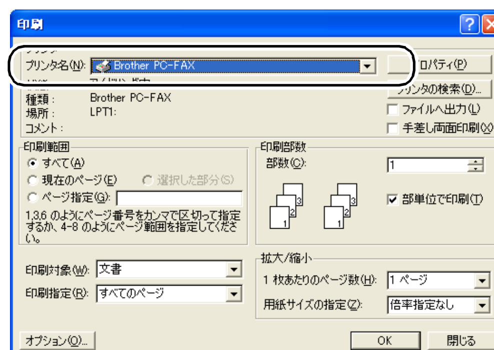
「印刷」ダイアログボックスが表示されます。



3 「プリンタ名」に「Brother PC-FAX」を選択し、「OK」をクリックする

「ファクス送信」ダイアログボックスが表示されます。

- 「ファクス送信」ダイアログボックスは、「Brother PC-FAX設定」ダイアログボックスで選択したスタイル（ファクススタイルもしくはシンプルスタイル）になります。



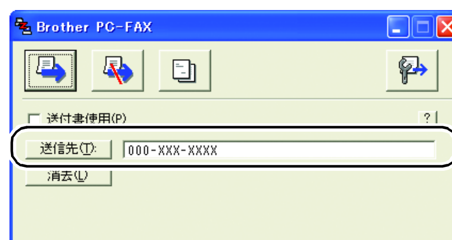
4 送信先を入力する

ファクススタイル



ファクススタイルでファクス送信するとき
- ダイヤルパッドから入力する
- 10個あるスピードダイヤルから選択して入力する
- 電話帳もしくはグループダイヤルから選択して入力する

シンプルスタイル



シンプルスタイルでファクス送信するとき
- 「送信先」欄に送信先を入力する
- 「送信先」ボタンを押して電話帳から選択して入力する
  電話帳にグループ登録をしているときは、グループを選択して複数の送信先を指定することもできます。

間違えたときは、「消去」ボタンを押します。

5 送付書をつけるときは、以下の操作をする

ファクススタイルで送信するとき
- をクリックして点灯させ、をクリックして送付書を選択します。

シンプルスタイルで送信するとき
- 「送付書使用」にチェックマークをつけ、をクリックして送付書を選択します。

6 「送信」（シンプルスタイルのときは ）をクリックする

ファクスが送信されます。
ファクス送信を取りやめるときは、「中止」（シンプルスタイルのときは ）をクリックします。

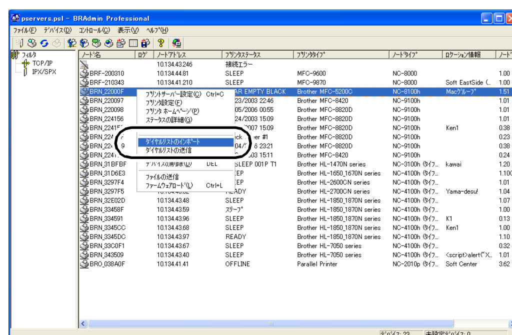
ネットワークPC-FAXのアドレス帳を更新する

ここではブラザーネットワークPC-FAXアドレス帳をBRAdmin Professionalを使って更新する手順について説明します。BRAdmin Professionalを使うと、お使いのメールソフトに登録されている住所録（アドレス帳）からブラザーPC-FAXアドレス帳にデータを取り込んだり本機の電話帳を更新することができます。

1 **BRAdmin Professional を起動する**

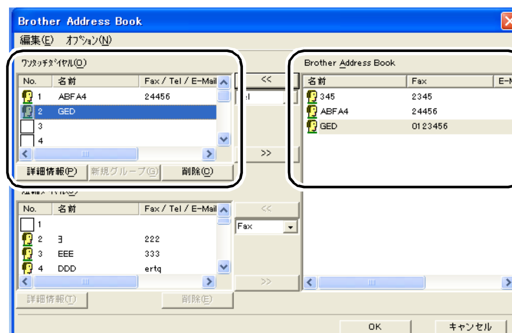
2 **設定するブラザー MFC 製品をマウスで右クリックし、メニューから「ダイヤルリストのインポート」をクリックする**

「ブラザー PC-FAX アドレス帳」画面が表示されます。



3 **ワンタッチダイヤルボタンに登録するメンバーを登録する**

［<<］［>>］ボタンを押して、左のボックスに移動させてください。



4 **ブラザー PC-FAX アドレス帳画面の「OK」をクリックする**

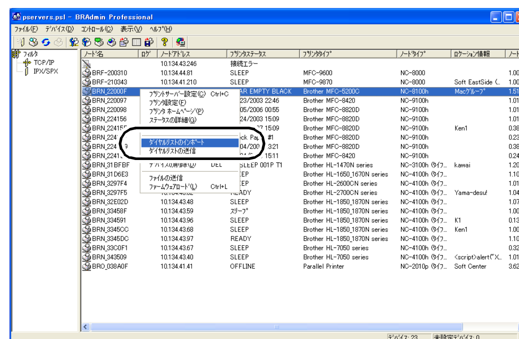
住所録を更新する

BRAdmin Professionalを使うと、本機の電話帳を更新することができます。

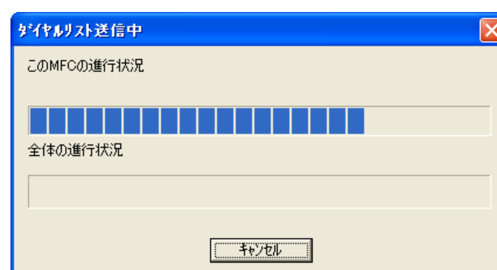
1 BRAdmin Professional を起動する

2 設定するブラザー MFC 製品をマウスで右クリックし、メニューから「ダイヤルリストの送信」をクリックする

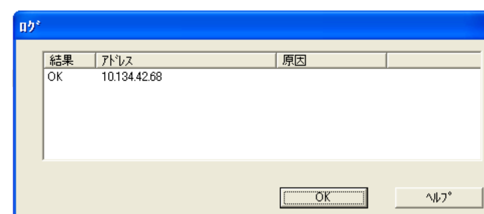
確認画面で「はい」をクリックし、管理者用のパスワード（初期設定は access）を入力し、「OK」をクリックします。
ブラザー PC-FAX アドレス帳が本機の電話帳に送られ、更新されます。
複数台のブラザー MFC 製品の電話帳を同時に更新することもできます。



更新中は右の画面が表示されます。
更新を途中で止めるときは、「キャンセル」をクリックしてください。



更新が終わると、右の画面が表示されます。
確認して、「OK」をクリックしてください。



基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークファクス機能を使う
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

Macintosh®環境でネットワークPC-FAX機能を使う

ファクスを送信する（Mac OS® 9.1 ～ 9.2）

ネットワークPC-FAX機能からファクスを送るには、以下のようにします。

1 **アップルメニューから［セレクタ］をクリックする**

2 **Brother color アイコンをクリックする**

3 **右側のボックスから PC-FAX に使用するブラザー MFC 製品を選択する**

4 **セレクタ画面を閉じる**

5 **ネットワーク PC-FAX 機能で送信したい原稿を開く**

6 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択する**

プリントダイアログが表示されます。

7 **［出力先］から［ファクス］を選択する**

「印刷」ダイアログボックスが「ファクシミリ」ダイアログボックスになります。

補足

- ネットワークPC-FAXで送信したい原稿のうち、ページ範囲を指定できます。
From:欄に開始ページを、TO:欄に終了ページを入力して指定してください。

8 **［送信］をクリックする**

「ファクスを送信」ダイアログが表示されます。

9 左のボックスから送信したいファクス番号をダブルクリックする

送信先のファクス番号が右側のボックスに表示されます。
複数の送信先がある場合は、それぞれの送信先をダブルクリックして選択します。

補足

- 送信先ファクス番号を選択してから［>>］をクリックしても、右側のボックスに表示されます。
- 複数の送信先を一度に選択するときは、［Shift］ボタンもしくは［Ctrl］ボタンを押しながら送信先ファクス番号を選択してください。
- 新たな送信先を作成するときは［新規作成］ボタンをクリックしてください。新規登録画面が表示されます。送信先をグループとして登録しておくこともできます。詳しくはユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）P.143（Macintosh®）を参照してください。

10 全ての送信先を選択し終わったら、［送信］ボタンをクリックする

11 ［OK］をクリックして、「ファクス」ダイアログボックスに戻る

選択した送信先に、原稿が送信されます。

ネットワークPC-FAXのアドレス帳を更新する

ファクス送信の操作中でも、アドレス帳を更新することができます。

● 新規に相手を登録する

1 「ファクス」ダイアログで、［アドレス帳］をクリックする

「アドレス帳」ダイアログが表示されます。

2 ［新規作成］をクリックする

3 送信相手の名前とファクス番号を入力する

備考に、15 文字までのコメントをつけることができます。

4 ［OK］をクリックする

「アドレス帳」ダイアログに戻ります。

5 ［OK］をクリックする

「ファクス」ダイアログに戻ります。

● 新規にグループを登録する

1 「アドレス帳」ダイアログで、［住所録］ボタンをクリックする

「住所録」ダイアログボックスが表示されます。

2 ［グループ］ボタンをクリックする

「グループ設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 グループ名称を入力する

コメント欄に、15 文字までのコメントをつけることができます。

4 グループに登録する相手を選択し、［OK］をクリックする

「住所録」ダイアログボックスに戻ります。
複数の相手を一度に選択する場合は、［Shift］ボタンもしくは［Ctrl］ボタンを押しながら送信先ファクス番号を選択してください。

5 ［OK］をクリックする

「ファクシミリ」ダイアログボックスに戻ります。

基本編

6章

ネットワークスキャン機能を使う

ネットワークスキャン機能とは

概要

注意

■ネットワークスキャン機能を使うには、本機にTCP/IPの設定をしておく必要があります。

ネットワークスキャン機能は、本機のスキャン機能を使ってネットワーク経由で画像をコンピュータに送ったり、保存したり、また E メールの添付ファイルとして他のコンピュータに送り届けることや、コンピュータからネットワーク経由で本機から画像を取得することができます。

- 操作パネルから設定するにはP.26を参照してください。
  （ネットワークプリンタとしてのTCP/IP設定がすでに完了していれば設定済みです。）
- ウェブブラウザから設定するにはP.117を参照してください。

ネットワークスキャンする前の準備

ネットワークスキャン機能を使うには、まずスキャナドライバをインストールする必要があります。

スキャナドライバのインストール

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、本機を選択すると、自動的にドライバのインストールが始まります。画面の指示に従って、ドライバのインストールを継続してください。詳しくは、かんたん設置ガイドP.32 P.44 P.46を参照してください。

設定の変更

ドライバがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

1

コントロールパネル画面を表示させる

- Windows® 98/98SE/Meの場合
  スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
- Windows® 2000/XPの場合
  スタートメニューから「設定」を選択し、「コントロールパネル」をクリックします。

2

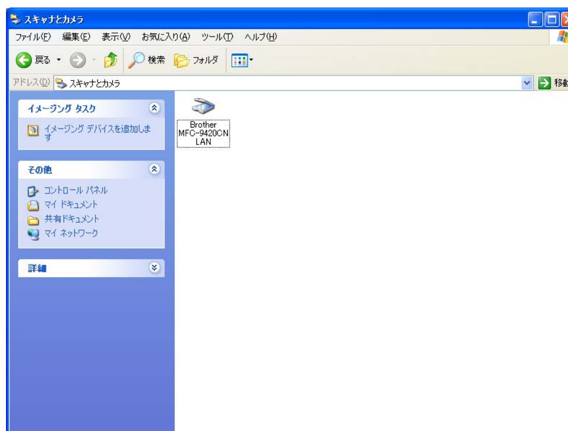
「スキャナとカメラ」アイコン スキャナとカメラ をダブルクリックする

一覧が表示されます。

3

スキャナのアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする

- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。



4

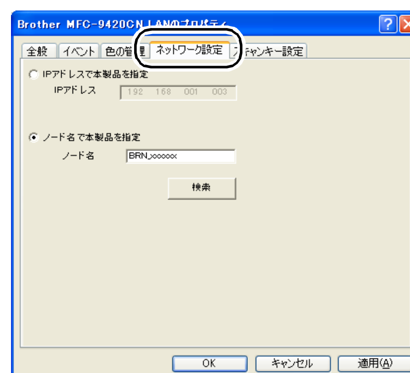
「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する

IP アドレスを更新する場合

- 本機のIPアドレスを入力します。

名前を変更する場合

- 本機のノード名を「ノード名」欄に入力します。



使用可能な機器一覧から指定して変更する場合

- ［検索］をクリックし、既存のLAN内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。

5 「スキャンキー設定」タブをクリックする



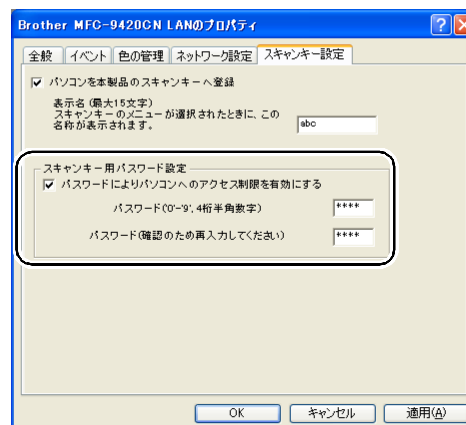
6 スキャン画像を取り込むコンピュータの名を登録する

本機の「スキャン」ボタンを操作した時にコントロールパネル上に表示されるこのコンピュータの名です。初期設定は、お使いのコンピュータ名です。コンピュータ名は、マイコンピュータのプロパティ画面で確認できます。



7 他の人からのアクセス制限をしたい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本機側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。



基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークファクス機能を使う
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

スキャン画像をEメールに取り込む

この機能は、スキャン画像をEメールに取り込む機能です。いったんコンピュータに送ってからコンピュータのメーラー（電子メールを扱うソフトウェア）で送信することができます。

スキャン画像をEメールに取り込む

モノクロやカラーの原稿を、添付メールとしてEメールに取り込むことができます。

1 **スキャンする原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする**

2 **Scan を押す**

スキャン：▲▼デ゛ センタク

3 **▲▼を押して「スキャン　E メール」を選択する**

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
スキャン Eメール

4 **Menu Set を押す**

5 **▲▼を押して「PC」を選択する**

スキャン Eメール
PC

6 **Menu Set を押す**

7 **▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する**

コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

8 **Menu Set を押す**

PC セツゾ゛ク チュウ

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると、コンピュータ側でメーラーが起動し、添付ファイルとしてスキャン画像が新規メールに添付されます。

スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ファイルはビットマップ（＊.BMP)、JPEG（＊.JPG)、TIFF（＊.TIF)、PNG（＊.PNG)、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。
ControlCenter2 で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

補足

●［スキャン］ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2 から変更できます。詳しくは、ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）P.92（Windows®）P.149（Macintosh®）を参照してください。

スキャン画像をEメールで直接送る

スキャン画像をEメールで直接送る準備

Eメールで直接送るには、まずメールサーバーの設定が必要です。

1 **受信側のメールサーバーに、メールアカウントを追加する**

2 **メールアカウントとパスワードを設定する**

3 **POP3/SMTP が使用できること、有効な IP アドレスが割り当てられていることを確認する**

通常、メールサーバーへのアクセスには制限があるため、メールサーバー管理者にアカウント設定の依頼をしてください。

スキャン画像をEメールで直接送る

本機でスキャンした画像を、直接宛名を指定して送信します。スキャン画像は E メールの添付ファイルとして、モノクロは TIFF-F形式、カラーはJPEGまたはPDF形式で送信されます。

1 **スキャンする原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする**

2 **Scan を押す**

```
ｽｷｬﾝ:▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3 **▲▼を押して「スキャン　E メール」を選択する**

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
ｽｷｬﾝ Eﾒｰﾙ         ▲▼
```

4 **Menu/Set を押す**

5 **▲▼を押して「E メールデ　オクル」を選択する**

```
ｽｷｬﾝ Eﾒｰﾙ
Eﾒｰﾙﾃﾞ ｵｸﾙ
```

6 **Menu/Set を押す**

7 **▲▼を押して「ガシツ　ヘンコウ」を選択する**

「アドレス　ニュウリョク」を選択して Menu/Set を押すと、手順 13 へ進みます。

```
Eﾒｰﾙﾃﾞ ｵｸﾙ
ｶﾞｼﾂ ﾍﾝｺｳ
```

8 **Menu/Set を押す**

9 を押して解像度とモノクロ / カラーを選択する

```
ｽｷｬﾝｶﾞｼﾂ ﾍﾝｺｳ?
ｶﾗｰ 150 dpi
```

下記の中から選択してください。
- カラー 150dpi
- カラー 300dpi
- カラー 600dpi
- モノクロ200dpi
- モノクロ200×100dpi

モノクロ 200dpi とモノクロ 200 × 100dpi を選択するときは、手順 12 へ進んでください。

10 Menu Set を押す

11 を押して画質の形式を JPEG か PDF か選択する

```
ｶﾗｰ ﾌｧｲﾙﾀｲﾌﾟ
JPEG
```

12 Menu Set を押す

13 送信先の E メールアドレスを入力する

アルファベットの入力方法についてはP.24を参照してください。
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから、番号を入力することもできます。

```
XXXXX@XXXXX
ｶﾗｰ 150 dpi
```

14 モノクロスタート または カラースタート を押す

原稿のスキャンが開始されます。
スキャンが終了すると本機がメールを送信します。

スキャン画像をコンピュータに直接送る

本機のスキャン機能で、画像をコンピュータのアプリケーションに直接送ることができます。スキャン画像のデータが送られると、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピュータに表示します。

グラフィックソフトに送る

スキャン画像を、グラフィックソフト（画像処理ソフト）で開きます。

1 **スキャンする原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする**

2 **Scan を押す**

スキャン：▲▼デ゛ センタク

3 **▲▼を押して「スキャン　イメージ」を選択する**

▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
スキャン イメーシ゛

4 **Menu Set を押す**

5 **▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する**

送信先のコンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

6 **Menu Set を押す**

PC セツゾ゛ク チュウ

原稿のスキャンが開始されます。
ControlCenter2 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 版）
P.92（Windows®）P.149（Macintosh®）を参照してください。

テキスト変換（OCR）してからワープロに送る

スキャン画像をBrother OCR（テキスト変換ソフト）で処理してからワープロソフトで開きます。

1 **スキャンする原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする**

2 **（Scan）を押す**

```
ｽｷｬﾝ:▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3 **（▲▼）を押して「スキャン　OCR」を選択する**

```
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
ｽｷｬﾝ OCR
```

4 **（Menu Set）を押す**

5 **（▲▼）を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する**

送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

6 **（Menu Set）を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

```
PC ｾﾂｿﾞｸ ﾁｭｳ
```

スキャン画像を自動でコンピュータに保存する

スキャン画像を、指定したファイル保存形式で保存します。

1 **スキャンする原稿を ADF または原稿台ガラスにセットする**

2 **[Scan]を押す**

```
スキャン：▲▼デ゛ センタク
```

3 **[▲▼]を押して「スキャン　ファイル」を選択する**

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
スキャン ファイル ▲▼
```

4 **[Menu Set]を押す**

5 **[▲▼]を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択する**

送信先コンピュータにパスワードが設定されている場合は、コンピュータ名を選択した後にパスワードを入力してください。

6 **[Menu Set]を押す**

```
PC セツゾ゛ク チュウ
```

原稿のスキャンが開始されます。
ControlCenter2 で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。ファイルはビットマップ（＊.BMP）、JPEG（＊.JPG）、TIFF（＊.TIF）、PNG（＊.PNG）、PDF（＊.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

補足

●保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダ
  「マイドキュメント￥マイピクチャ￥Control Center 2￥Scan」
  マイピクチャフォルダがない場合は、
  「マイドキュメント￥Control Center 2￥Scan」となります。
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_XXXXX
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  XXXXX：通し番号

●［スキャン］ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2 から変更できます。詳しくは、ユーザーズガイド　パソコン活用編（PDF版）P.92（Windows®）P.149（Macintosh®）を参照してください。

基本編

7章

インターネット印刷する

概要

Windows® 2000/XPでは、IPP（Internet Printing Protocol）を使用すると、インターネットを通じてプリンタに印刷ジョブを送ることができます。
例えば、東京のオフィスにあるコンピュータ上のMicrosoft® Excelアプリケーションソフトのデータを、大阪のオフィスにあるプリンタで印刷することができます。

詳細はP.112を参照してください。

Windows® 98/Meの場合は、IPPプロトコルを使用して、Windows® 2000/XPコンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送ることができます。ただし、Windows® 2000/XP コンピュータで IIS が実行され、クライアントコンピュータに Microsoft® Internet Print Services ソフトウェアがインストールされている必要があります。また、Microsoft® Internet Explorerのバージョン6.xx以降の使用をお勧めします。

● 設定の流れ

1. Windows® 2000/XPのインターネット印刷機能を使用するための設定をします。P.112を参照してください。

Windows® 2000/XPでのインターネット印刷

Windows® 2000/XPのIPP(Internet Printing Protocol)を用いたインターネット印刷機能を使用するには、次の手順を実行します。

注意

■本機のIPアドレス設定が完了し、ネットワークに接続されている必要があります。

■インターネットを経由して遠隔地にある本機に IPP 印刷機能で印刷する場合は、サーバまたはルータに各種の設定が必要です。

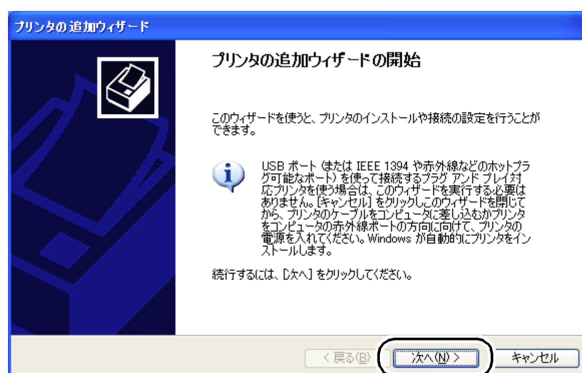
■サーバまたはルータの設定方法や、設定するデータはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、［プリンタの追加］をクリックする**

• Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックし、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

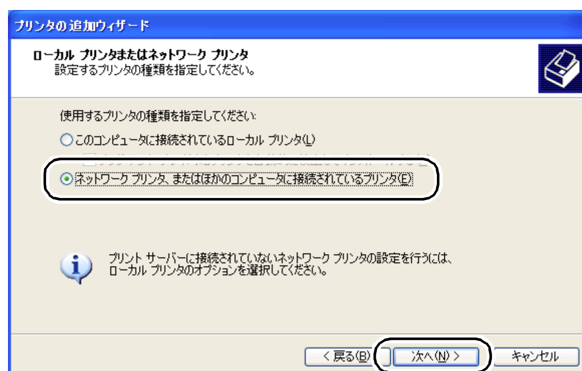
2 **［次へ］をクリックする**



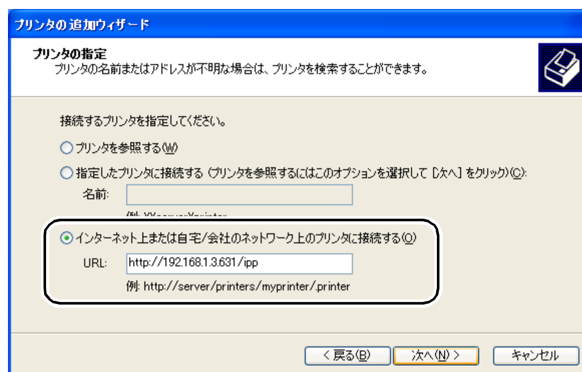
3 **［ネットワークプリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］をクリックし、［次へ］をクリックする**

• Windows® 2000の場合は、［ネットワークプリンタ］をクリックします。

［プリンタの指定］画面が表示されます。



4 ［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］をクリックし、［URL:］ボックスに次の URL を入力する



- Windows® 2000の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］をオンにし、［URL:］ボックスに次のURLを入力します。

http://*ip_address*:631/ipp

ip_address は本機の IP アドレスです。
例）本機の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　http://192.168.1.3:631/ipp

補足

- URLで指定している"631"はIPP標準のポート番号です。

5 ［次へ］をクリックする

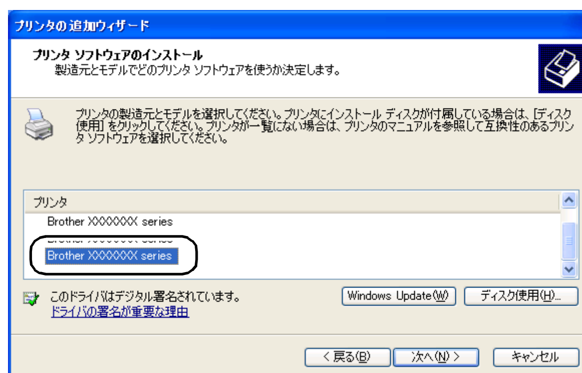
指定した URL に接続されます。

- 必要なプリンタドライバがインストールされている場合
  適したプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、そのドライバが自動的に使用されます。
  ドライバをデフォルトのプリンタドライバにするかどうかを選択し［次へ］をクリックします。
  手順8に進んでください。

- 必要なプリンタドライバがインストールされていない場合
  プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタ追加ウィザードのプリンタ選択画面が表示されます。手順6に進んでください。

6 使用するプリンタドライバを指定する

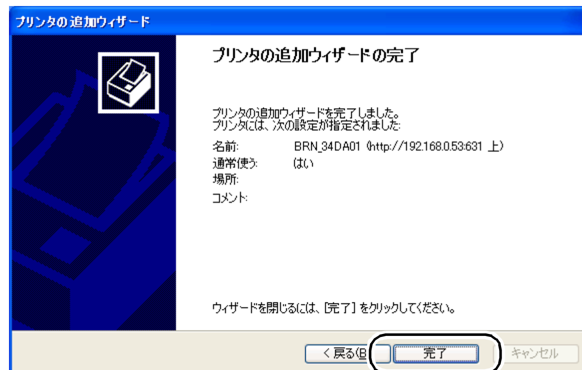
［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM 上の保存場所を参照します。
プリンタのリストから、本機のプリンタドライバを選択します。



7 ［次へ］をクリックする

8 ［完了］をクリックする

これで、Windows® 2000/XP のインターネット印刷機能の設定は完了しました。
このコンピュータを経由してインターネット印刷ができます。



別のURLを指定する

［URL］ボックスには、次の何種類かの入力が可能です。

補足

●「詳細」タブをクリックしても本機のデータは表示されません。

http://*ip_address*:631/ipp
デフォルトのURLです。このURLの使用をお勧めします。

http://*ip_address*:631/
URLの詳細を忘れた場合は、このテキストだけでも本機に受け付けられ、データが処理されます。

本機に内蔵されているサービス名を使用する場合は、次のURLも使用できます。
http://*ip_address* : 631/brn_xxxxxx_p1
http://*ip_address* : 631/binary_p1
http://*ip_address* : 631/text_p1
http://*ip_address* : 631/postscript_p1
http://*ip_address* : 631/pcl_p1
http://*ip_address* : 631/brn_xxxxxx_p1_at

*ip_address*は本機のIPアドレスです。
xxxxxxはMACアドレスの末尾の6桁です。

基本編

8章

ウェブブラウザで管理する

概要

標準のウェブブラウザで、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）を使用して、本機を管理することができます。使用するブラウザはNetscape Navigatorバージョン7.xx以降またはInternet Explorerバージョン6.xx以降をお勧めします。

IPアドレスの自動設定機能（APIPA）が、IPアドレスを169.254.1.0から169.254.254.255の範囲で自動的に割り当てます。お買い上げ時にAPIPAは有効になっていますが、無効にするときはP.35を参照してください。
APIPAが無効になっているときは、本機のデフォルトIPアドレスは192.0.0.192です。変更するときには操作パネル（搭載機種のみ）、ウェブブラウザまたはBRAdmin ProfessionalやBRAdmin Lightを使用してください。
本機のデフォルトパスワードはaccessです。

ウェブブラウザを使用しますと、Macintosh®のユーザーの方も本機を管理できます。

ウェブブラウザを使用して、次の情報を本機から取得することができます。
1. 本機のステータス情報
2. 本機のセットアップ情報の設定と変更
3. 電話帳登録と変更
4. ネットワーク設定情報と変更
5. 本機とネットワークボード（NIC）のバージョン情報

● 条件

- 本機とコンピュータのTCP/IP設定が完了していること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピュータがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザを起動し、本機のIPアドレスまたはノード名（NetBIOS名）を入力します。P.118を参照してください。

ウェブブラウザを使用して本機にアクセスする方法

ウェブブラウザを使用して本機にアクセスする方法

1 **ウェブブラウザのアドレス入力欄に http://*ip_address*（[*ip_address*] はご使用になる本機の IP アドレス）を入力する**



例）本機の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザに http://192.168.1.3 と入力します。

- 本機のIPアドレスの確認は、P.28 を参照してください。
- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

2 本機にアクセスすると、ネットワークの設定画面が表示されます。
目的の管理機能へのリンクをクリックする

- 本機のIPアドレスを変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。
- ネットワークの設定を表示する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。



補足

- Mac OS® X ユーザーの方は、ステータスモニタの本機アイコンをクリックしてウェブブラウザを起動することで、本機にアクセスすることができます。
詳しくは、ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF版）P.110 を参照してください。

パスワードについて

ウェブブラウザでは、2段階のパスワードによる管理が可能です。一般ユーザーで管理できるのは「基本設定」「FAX設定」「コピー設定」です。

一般ユーザー

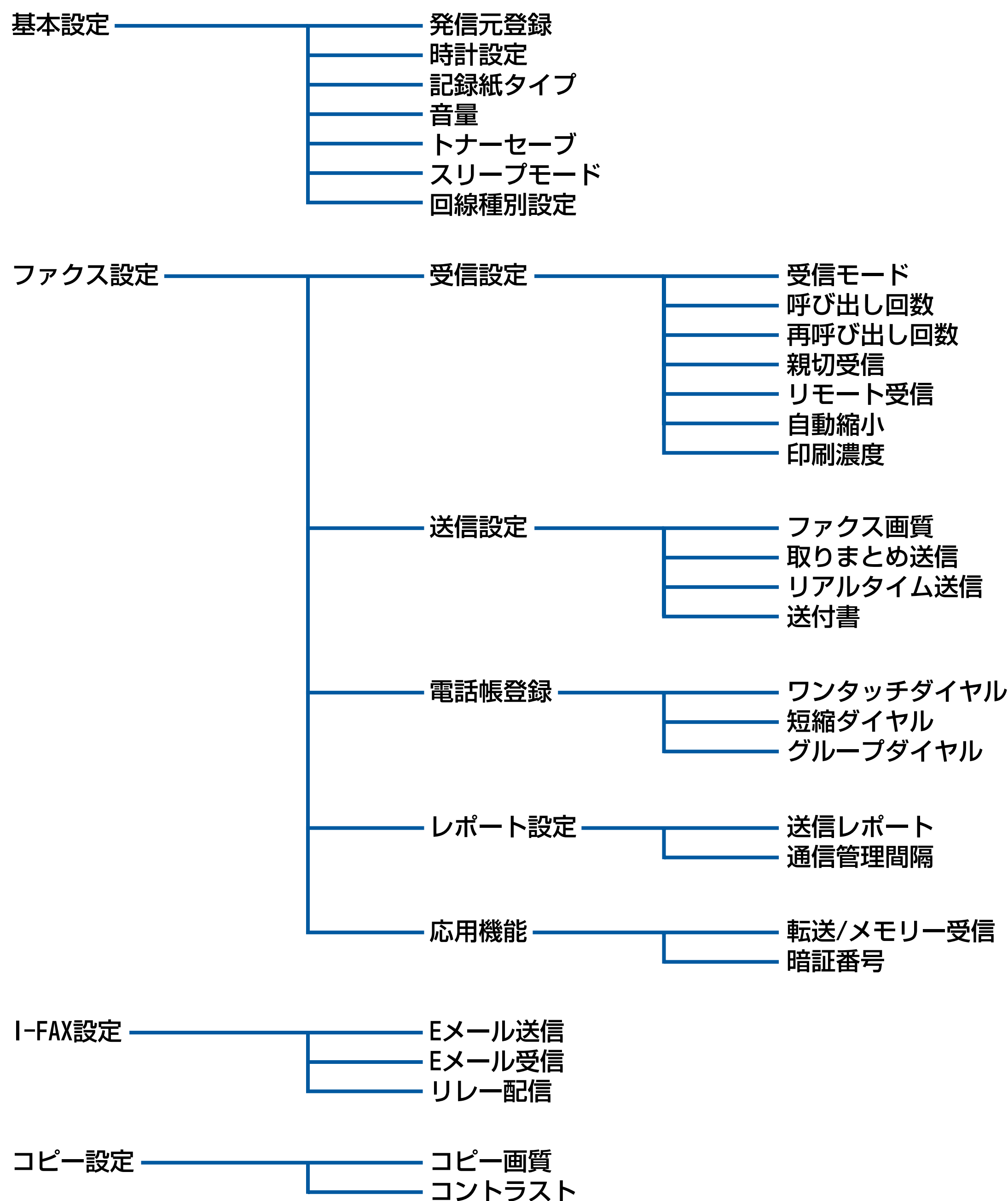
ユーザー名：user
パスワード：access
また、ネットワーク管理者用のパスワード管理では、全ての機能を管理できます。

管理者

ユーザー名：admin
パスワード：access

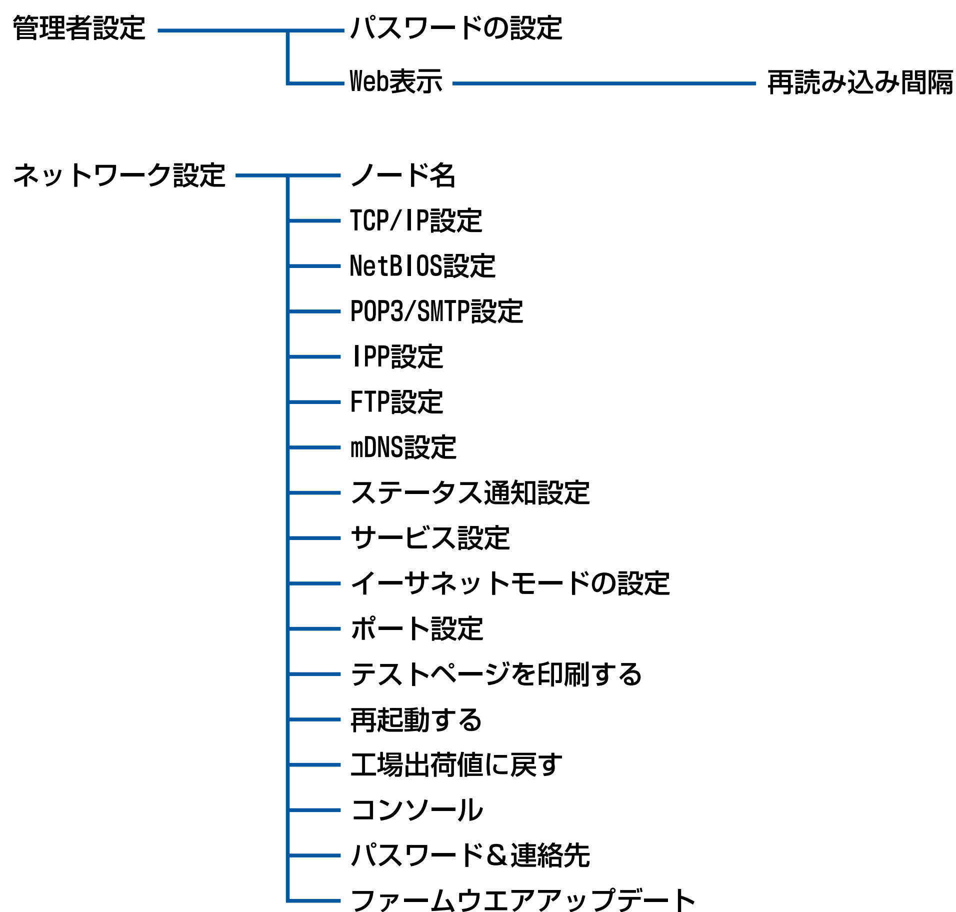
ウェブブラウザを使用して本機を設定する

一般ユーザーパスワードで管理できる項目は、以下の項目です。
なお、管理者用のパスワードではすべての項目を管理できます。



基本編
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
Windows環境でTCP/IPピアツーピア印刷する
Macintosh環境で使用する
ネットワークファクス機能を使う
ネットワークスキャン機能を使う
インターネット印刷する
ウェブブラウザで管理する
BRAdmin Professionalで管理する

次の項目は、管理者用のパスワードでなければ管理できません。



基本編

9章

BRAdmin Professionalで管理する

BRAdmin Professionalをインストールする

BRAdmin Professional（Windows®専用）をインストールする

BRAdmin Professional は、ネットワークプリンタなど、ネットワーク環境に接続された装置の管理を行うソフトウェアです。

1　付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする

モデル名を選ぶ画面が表示されたときは、モデル名をクリックします。
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

2　「追加ソフトウェア」をクリックする



3　「BRAdmin Professional」をクリックし、画面の指示にしたがってインストールする



補足

●Windows® XP　で、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin　Professional　の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、以下の手順で一時的に無効に設定してください。

• SP1をお使いの場合
  ① コントロールパネルから［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］をクリックします。
  ② 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
  ③「詳細設定」タブをクリックします。
  ④［インターネットからこのコンピュータのアクセスを制御したり防いだりして、コンピュータのネットワークを保護する］のチェックを外します。
• SP2をお使いの場合
  ① コントロールパネルから［ネットワークとインターネット接続］－［Windowsファイアウォール］をクリックします。
  ②「全般」タブの中から［無効（推奨されません）（F)］を選択して「OK」をクリックします。

BRAdmin Light（Macintosh®専用）をインストールする

BRAdmin Lightは、Mac OS® X専用のJavaアプリケーションです。BRAdmin Lightを使用することにより、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
BRAdmin Lightは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からダウンロードできます。
詳しい使用方法については、上記ウェブサイトをご覧ください。

ネットワークインターフェースを設定する

TCP/IPを利用して印刷するには、本機にIPアドレスを割り当てる必要があります。

使用するコンピュータと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。コンピュータと本機の間にルータが接続されている場合は、さらに「ゲートウェイ」のアドレスも設定します。

補足

●ゲートウェイの設定
ルータはネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルータが持つIPアドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルータのIPアドレスはネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

IPアドレスは以下の方法で割り当てます。

- IPアドレス配布サーバを利用している場合
  本機は各種の IP アドレス自動設定機能に対応しています。DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用している場合は、本機が起動したときに自動的に IP アドレスが割り当てられます。

- IPアドレス配布サーバを利用していない場合
  DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバを利用していない場合は、APIPA（AutoIP）機能により、本機が自動的に IP アドレスを割り当てることができます。ただし、お使いのネットワーク環境の IP アドレスの設定規則に適さない場合は、BRAdminProfessional を使用して本機の IP アドレスを設定してください。

補足

●お買い上げ時のIPアドレス
IPアドレス配布サーバを利用していない場合、お買い上げ時の設定は以下のとおりです。
- IPアドレス：169.254.XXX.XXX（APIPA機能による自動割当）
- パスワード：access

現在の設定値を調べるときは、「LAN設定内容リスト」を印刷します。詳しくはP.57をご覧ください。

BRAdmin Light（Macintosh® 専用）での設定方法については、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）をご覧ください。

BRAdmin Professional（Windows®専用）で設定する

1 **本機とコンピュータをネットワークに接続した状態で、BRAdmin Professional を起動する**

2 **ウィンドウの左側にある「フィルタ」の「TCP/IP」を選ぶ**

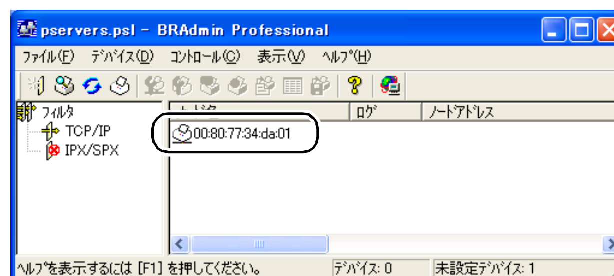


注意

■ネットワークインターフェースがすでに設定されている場合や IP アドレスの自動設定機能により IP アドレスが割り当て済みの場合には、ウィンドウの右側に本機のネットワークインターフェースが表示されます。

3 **［デバイス］メニューから［稼働中のデバイスの検索］を選ぶ**

お買い上げ時のままの場合は、未設定デバイスとして表示されます。
この場合、「ノード名」には MAC アドレスが表示されます。



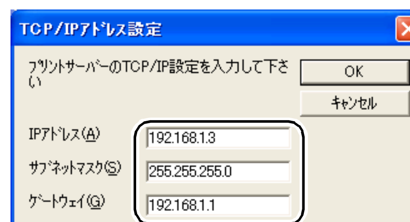
4 **「未設定デバイス」をダブルクリックする**

補足

●現在設定されているノード名や MAC アドレスを調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは P.57 をご覧ください。

5 **本機の IP アドレス、サブネットマスク、必要に応じてゲートウェイを入力する**

例）IP アドレス　　　：192.168.1.3
　　サブネットマスク：255.255.255.0
　　ゲートウェイ　　：192.168.1.1



6 **［OK］をクリックする**

本機に IP アドレスが正しく設定されると、ウィンドウの右側にノード名およびプリンタ名が表示されます。

補足

●BRAdmin Professionalを使用せずにIPアドレスを設定するときは以下の方法でもIPアドレスの設定ができます。
- 操作パネルで設定する場合はP.28 を参照してください。
- DHCP、ARPを使用する場合はP.131 を参照してください。

特殊設定編

特殊設定編

10章

ネットワークの設定

概要

TCP/IPプロトコルを使用するには、ネットワーク上の各デバイスに固有のIPアドレスを設定する必要があります。
この章では、基本編で紹介していない本機のIPアドレスの設定方法やドメイン名（ワークグループ名）の設定方法について説明します。

IPアドレスの設定

● IP アドレスの自動設定機能

本機は各種のIPアドレス自動配布機能に対応しています。
デフォルトでは以下の機能が有効になっており、本機起動時に自動的にIPアドレスを割り当てることができます。

IP アドレス配布サーバーを使用する（詳しくはP.131を参照してください。）

- 設定されるIPアドレス内容は、IPアドレス配布サーバーに依存します。

上記のIPアドレス配布サーバーがない環境では、APIPA機能によって、自動的にアドレスを割り当てます。（上記IPアドレス配布サーバーからの割り当てが優先します。）

アドレス：169.254.1.0～169.254.254.255の範囲のいずれかになります。
サブネットマスク：255.255.0.0
ゲートウェイ：0.0.0.0

注意

■APIPA による割り当ては、使用しているネットワークでの IP アドレス設定規則に適さない場合があります。そのような場合は、以下の説明にしたがって、IPアドレスを変更する必要があります。

■APIPA機能を無効にしたい場合は、P.35を参照してください。
デフォルトでは、APIPAプロトコルは使用可能に設定されています。

IPアドレスの自動設定機能が無効な場合のデフォルトのIPアドレスは、192.0.0.192です。使用しているネットワークのIPアドレス設定規則に合わせて、IPアドレスを変更してください。
IPアドレスは、次項のいずれかの方法で変更できます。

補足

●ネットワーク設定内容を印刷して、現在の設定値を調べることができます。
詳しくはP.57を参照してください。

● IP アドレスの設定方法

ネットワークの設定状態に応じて、以下の方法があります。
なお、使用するコンピュータと同じネットワーク上に本機が接続されている場合は、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。ルータ越しに接続されている場合は、さらにルータ（ゲートウェイ）のアドレスも設定します。

デフォルト状態の本機を使用する場合

- 操作パネルを使用する。P.28
- BRAdmin Professional（TCP/IPプロトコルを使用するWindows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0用）を使用する。P.122
- BRAdmin Light（Mac OS® X 10.2.4以降）を使用する。P.123

TCP/IP で通信できる状態の本機の設定を変更する

- 操作パネルを使用する。P.28
- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.117
- BRAdmin Professional（TCP/IPプロトコルを使用するWindows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0用）を使用する。P.122
- BRAdmin Light（Mac OS® X 10.2.4以降）を使用する。P.123

補足

●設定を変更するときは、パスワードの入力を要求される場合があります。デフォルトのパスワードは"access"です。

●ドメイン名（ワークグループ名）の設定について
本機のデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）はWORKGROUPです。本機のデフォルトのドメイン名（ワークグループ名）が、使用しているネットワークでのドメイン名（ワークグループ名）の設定規則に適していない場合は、ドメイン名（ワークグループ名）を変更してください。
ドメイン名（ワークグループ名）は、BRAdmin Professional（TCP/IP プロトコルを使用する Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0用）やBRAdmin Light（Mac OS® X 10.2.4以降）を使用して変更することができますが、それ以外に以下の方法で設定することができます。

- HTTP（ウェブブラウザ）を使用する。P.117

IPアドレスの設定方法

DHCPを使用して自動的に設定する

動的ホスト構成プロトコル（DHCP）は、IPアドレス自動割り当て機能の1つです。ネットワークにDHCPサーバーがある場合は、そのDHCPサーバーから本機に自動的にIPアドレスが割り当てられ、RFC1001および1002準拠の動的名前サービスを使用して、その名前が登録されます。

注意

■DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用しない場合は、自動的に IP アドレスを取得しないように設定してください。操作パネル、ウェブブラウザまたはBRAdmin ProfessionalやBRAdmin Lightを使用して、IPの設定方法を手動（static（固定））に設定します。P.27 P.118 P.124

ARPを使用する

DHCPサーバーを使用することができない場合は、ARPコマンドを使用します。ARPの使用は、本機のIPアドレスを設定する最も簡単な方法です。
TCP/IPをインストールしたWindows®システムでARPを使用することができます。
コマンドプロンプトから、ARPコマンドを入力し、設定したIPアドレスにpingテストを行います。

arp -s *ip_address ethernet_address*
ping *ip_address*

- *ethernet_address*は、本機のMACアドレスです。
- *ip_address*は、本機のIPアドレスです。

例を次に示します。

● Windows® システム

Windows®システムでは、MACアドレスの各桁の間にダッシュ（-）が必要です。

arp -s 192.168.1.3 00-80-77-31-01-07
ping 192.168.1.3

補足

●このコマンドは同一のネットワークセグメント上でなければ使用できません。つまり、本機とご使用のコンピュータの間にルータがある場合は使用できません。ルータがある場合は、BOOTP またはこの章で説明する他の方法を使用してIPアドレスを設定してください。

●システム管理者が、DHCP、BOOTP、RARP または APIPA 機能を使用している場合は、本機には IP アドレスが自動的に割り当てられるため、ARPコマンドを使用する必要はありません。

●ARP コマンドは 1 回しか使用できません。つまり、ARP コマンドを使用して本機の IP アドレスを設定した場合は、セキュリティのため、再度ARPコマンドを使用してIPアドレスを変更することはできません。IPアドレスの変更が必要な場合は、ウェブブラウザを使用します。ただし、本機をお買い上げ時の状態にリセットすると、再びARPコマンドを使用することができます。

特殊設定編

11章

トラブルシューティング

概要

ネットワークプリンタを使用する上で、発生する可能性のある問題とその解決方法について説明しています。

問題の種類を下記の4つに分けています。該当する問題のページを参照してください。

- インストールについての問題の解決方法についてはP.134を参照してください。
- プロトコル固有の問題の解決方法についてはP.136を参照してください。
- ファイアウォールの問題の解決方法についてはP.139を参照してください。
- その他の問題の解決方法についてはP.141を参照してください。

インストールについての問題

ネットワークを通じて印刷することができない場合は、次の項目をチェックします。



本機がオンラインであり、印刷できる状態であることを確認する

補足

●ネットワーク設定ページを印刷して、ノード名（NetBIOS 名）と MAC アドレスを調べることができます。P.57 を参照してください。

ネットワークを通じて正常に印刷されない場合、以下を確認してください。

a. 本体背面の 10BASE/100BASE-TX ポートの近くにあるネットワーク LED が点滅していない場合は、ネットワークの設定に異常があると考えられます。

b. この場合は、LAN 設定をお買い上げ時のデフォルトにリセットします。
  - LAN 設定の初期化を実行後、LAN 設定内容リストの出力で LAN 設定内容リストを印刷してください。詳しくは、P.56 P.57 を参照してください。



設定情報は印刷できるのに通常のドキュメントが印刷できない場合は、次の手順を実行する

次の手順を実行しても印刷できない場合は、ハードウェアまたはネットワークに問題があると考えられます。

a. TCP/IP を使用している場合
コンピュータから次のコマンドを実行し、本機へのpingテストを行います。

Ping *ip_address*

*ip_address*は本機のIPアドレスです。
本機にIPアドレスがロードされるまでに、IPアドレスの設定後最大2分間程度かかる場合があります。
  - 応答が正しく返される場合は、P.136 の各トラブルシューティングへ進みます。
例）**C:¥>Ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

- 応答が返らない場合は、手順 3、4 を確認した後でP.136へ進みます。
例）**C:¥>Ping 192.168.1.3**

```
Pinging 192.168.1.3 with 32 bytes of data:

Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.

Ping statistics for 192.168.1.3:
    Packets: Sent = 4, Received = 0, Lost = 4 (100% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms
```

3 手順 2 で接続できなかった場合は、次の項目を確認する

a. 本機がオンラインになっていることを確認します。
b. 接続ケーブルとネットワークとの接続をチェックし、設定ページを印刷します。詳しくはP.57を参照してください。<Network Statistics> セクションに <Packets Received> でデータがあるかどうかを調べます。
c. LED の表示をチェックします。
本機の背面には 2 個のネットワーク LED があります。この LED を使用して、問題の診断を行うことができます。
- 消灯
LED が両方とも消灯している場合は、ネットワークに接続されていないことを示します。
- Link/Speed（オレンジ色 / 緑色）
オレンジ色：100BASE リンク、緑色：10BASE リンク
- Activity
データの送受信時に点滅します。

4 本機とホストコンピュータとの間にブリッジまたはルータが存在する場合は、ホストから本機へのデータの送受信ができるように設定されていることを確認する

例えば、ブリッジは特定の IP アドレスのデータだけが通過できるように設定されていること（フィルタリング）があります。本機の IP アドレスが含まれるように設定してください。
ルータは特定のプロトコルだけを通過させるように設定されていることがあります。本機で使用するプロトコルが通過できるように設定されていることを確認してください。

プロトコル固有の問題

TCP/IPのトラブルシューティング

ハードウェアとネットワークのチェックでは問題がないにも関わらず、TCP/IPを使用してネットワークプリンタに正しく印刷できない場合は、次の項目をチェックします。

補足

●設定エラーによる原因をなくすため、項目をチェックする前に次の手順を行うことをお勧めします。
- 本機の電源を入れ直す。
- LAN設定の初期化を行ってから設定し直し、新しい印刷キューを作成します。

1 IP アドレスの不一致や重複が原因で問題が発生していないか確認する

- 本機に正しいIPアドレスがロードされていることを確認します。
- ネットワーク上のノードで、このIPアドレスが使用されていないことを確認します。TCP/IP印刷の問題で最も多い原因はIPアドレスの重複です。

2 同一のネットワークに接続されているか確認する

同一セグメント（ルータ内で物理的に同じ接続）であっても、IP アドレスに誤りがあると、別のネットワークに接続されていると認識されます。すでに利用中のコンピュータがある場合は、接続しているネットワークの情報を調べます。

- Windows® 98/98SE/Meの場合
  Windows®メニューのMS-DOSプロンプトからwinipcfgを実行します。
- Windows® 2000/XPの場合
  Windows®メニューのコマンドプロンプトからipconfig/allを実行します。
- Mac OS® X 10.2.4以降の場合
  「システム環境設定」の「ネットワーク」で確認できます。
- Mac OS® 9.1～9.2の場合
  「コントロールパネル」の「TCP/IP」で確認できます。

例）利用中のコンピュータの情報が以下の場合

IP アドレス	192.168.1.50
サブネットマスク	255.255.255. 0

本機の IP アドレスが、192.168.1.x に設定されているかを確認してください。例えば、192.168.0.x となっていると、異なるネットワークアドレスと認識されるため、印刷できなくなります。

3 ルータを再起動する

ルータはアクセスを速くする為にルーティング・テーブル、宛先 IP テーブルなどを持っています。これは一定期間、情報を保持し必要に応じて更新されます。もし、ネットワーク内で接続し直したり接続しているノードの IP アドレスの変更を繰り返し行った直後には、すべての IP アドレスに誤りが無くても正常に動作しない場合があります。この場合はルータを再起動させて回避できます。再起動の操作手順については、ルータの取扱説明書をご覧ください。

Windows NT®（TCP/IP）のトラブルシューティング

Windows NT® での印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. **Windows NT® に、TCP/IP および TCP/IP 印刷サービスがインストールされ、実行されていることを確認する**

2. **DHCP などを使用して本機の IP アドレスが確定していない場合は、［LPD を提供しているサーバーの名称またはアドレス :］に、本機のノード名を入力する**

LPR（BLP）でのTCP/IPピアツーピア印刷のトラブルシューティング

Windows® 98/Meで、LPR（BLP）でのTCP/IPピアツーピア印刷に問題がある場合は、次の項目をチェックします。

1. **ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアが正しくインストールされ、設定されていることを確認する**

   P.69 を参照してください。

2. **プリンタドライバのプロパティの［ポートの設定］でバイトカウントを有効にする**

   ブラザーピアツーピア印刷（LPR）ソフトウェアをインストールするときに、ポート名を入力する画面が表示されないことがあります。<ALT>+<TAB> ボタンを押すと表示されます。

Windows® 2000/XPのIPPのトラブルシューティング

印刷データがファイアウォールを通過できない

IPP印刷にポート631を使用すると、印刷データがファイアウォールを通過できない場合があります。ポート番号を変更するか（ポート80など）、ポート631を使用できるようにファイアウォールの設定を変更します。

ポート80（標準HTTPポート）を使用するプリンタに、IPPを使用して印刷ジョブを送信する場合、Windows® 2000/XPでの設定時に、次のデータを入力します。

http://*ip_address*/ipp

Windows® 2000 での［詳細］オプションが使用できない

Windows® XP での［プリンタの Web サイト］オプションが使用できない

http://*ip_address*:631/ippのURLを使用している場合は、Windows® 2000での［詳細］オプションおよびWindows® XPでの［プリンタのWebサイト］オプションは使用できません。
これらのオプションを使用するには、次のURLを使用してください。

http://*ip_address*

これは本機のインターネット印刷にポート80を割り当てるURLです。

Windows® 2000/XPと本機との通信にポート80が使用できます。

ウェブブラウザのトラブルシューティング



ウェブブラウザを使用してネットワークプリンタに接続できない場合は、ブラウザのプロキシの設定を確認する

プロキシを使用しないように設定し、必要に応じて本機の IP アドレスを入力します。
ネットワークプリンタの接続時に、毎回コンピュータが ISP やプロキシサーバーへの接続を試行しなくなります。



使用しているウェブブラウザが適しているか確認する

Netscape Navigator バージョン 7.xx 以降または Microsoft Internet Explorer バージョン 6.xx 以降の使用をお勧めします。

ファイアウォールの問題

Windows® XPのインターネット接続ファイアウォールの問題

Windows® XPで、「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしている場合、以下のような制限が発生します。

- TCP/IPピアツーピア印刷　　印刷できない場合があります。
- ネットワークスキャナ　　アプリケーションからスキャンできない場合があります。
  本機のScanによる以下の機能が利用できません。
  - スキャンEメール
  - スキャンイメージ
  - スキャンOCR
  - スキャンファイル
- BRAdmin Professional　　プリンタの検索ができない場合があります。

これらの機能を利用する場合は、以下の手順でファイアウォール設定を変更する必要があります。但し、変更設定はセキュリティーポリシーによって適切、不適切と判断される場合があります。ご利用の環境に最も適した設定方法を選択してください。

Service Pack1 の場合

インターネット接続ファイアウォールを無効にする

① コントロールパネルから、[ネットワーク接続]をクリックします。
② 使用しているネットワークアイコン（ローカルエリア接続など）を右クリックし、[プロパティ (R)]をクリックします。
③ [詳細設定]タブをクリックします。
④ [インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する(P)]のチェックを外します。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

① [インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する(P)]のチェックを入れます。
② プロパティシートの右下の[設定(G)...]ボタンをクリックします。
③ [サービス]タブの状態で、[追加(D)...]ボタンをクリックし、以下の情報を入力してください。

　サービスの説明(D)：
　　"NetBIOS NameService"（名称は任意です）
　ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIPアドレス(N)：
　　"192.168.1.3"（本機に割り当てたIPアドレス）
　このサービスの外部ポート番号(E)：
　　"137"
　このサービスの内部ポート番号(I)：
　　"137"
　プロトコル（TCP/UDP）は、"UDP(U)"を選択してください。

④ [OK]ボタンをクリックします。

⑤ 同様の手順で、以下の情報を入力してください。
サービスの説明(D)：
"Brother NetScan"（名称は任意です）
ネットワークでこのサービスをホストしているコンピュータの名前またはIPアドレス(N)：
"192.168.1.3"（本機に割り当てたIPアドレス）
このサービスの外部ポート番号(E)：
"54925"
このサービスの内部ポート番号(I)：
"54925"
プロトコル(TCP/UDP)は、"UDP(U)"を選択してください。
⑥ 全ての画面を[OK]で閉じて完了します。

Service Pack2 の場合

インターネット接続ファイアウォールを無効にする

① コントロールパネルから[Windowsファイアウォール]をクリックします。
② [全般]タブが選択されている画面で、[無効（推奨されません）(F)]をクリックします。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしたまま設定を変える

① [例外]タブをクリックします。
② [ポートの追加(O)...]ボタンをクリックします。
③「ポートの追加」ウィンドウでは以下の情報を入力してください。
名前(N)：　"Brother NetScan"　（名称は任意です）
ポート番号(P)：　"54925"
プロトコル（TCP/UDP）は、"UDP(U)"を選択してください。
④「ポートの追加」ウィンドウの左下の[スコープの変更(C)...]ボタンをクリックします。
⑤「スコープの変更」ウィンドウでは[ユーザーのネットワーク（サブネット）のみ(M)]を選択します。
⑥ 全ての画面を[OK]で閉じて完了します。

ローカルネットワークで複数のWindows® XPをインストールしたコンピュータから本機を利用する場合、それぞれのコンピュータに対して、同様の設定変更が必要になります。このような場合はWindows® XPのファイアウォール機能をすべて無効にし、ルータでサポートされているファイアウォール機能を利用することをお勧めします。詳しくは、ネットワーク管理者に問い合わせるか、ルータの取扱説明書をご覧ください。

※ファイアウォール機能を無効に設定した場合の結果については、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

アンチウイルスソフトの問題

市販のアンチウイルスソフト（ウイルスバスター™、Norton AntiVirus™など）でパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されている場合も、Windows® XPと同様の影響を受けます。詳しい設定方法についてはソフトウェア提供元へご相談ください。

その他の問題

その他に問題が発生する場合は、以下の手順で確認します。

1 容量の小さいジョブは正しく印刷でき、グラフィックなど容量の大きいジョブの印刷品質に問題があったり不完全に印刷される場合は、プリンタに搭載されているメモリの容量や、最新のプリンタドライバがコンピュータにインストールされているかどうかを確認する

プリンタの最新ドライバは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からダウンロードできます。

2 その他、まれに発生する問題の原因は、各プロトコル別のトラブルシューティングP.136**を参照する**

特殊設定編

12章

付録

一般情報

本機のLANの設定を変更するには、次のいずれかの方法で行います。

- 操作パネル
- HTTP（ウェブブラウザを使用）
- ブラザー BRAdmin Professional（Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT®）
- ブラザー BRAdmin Light（Mac OS® X 10.2.4以降）

操作パネル

操作パネル上のボタンを利用することで、コンピュータから操作しなくても本機液晶ディスプレイで確認しながらLAN設定のパラメータを設定変更することができます。

HTTP

使い慣れたウェブブラウザを使用して、本機に接続し、LAN設定のパラメータや本機の各種データを設定変更することができます。

BRAdmin Professional ／ BRAdmin Light

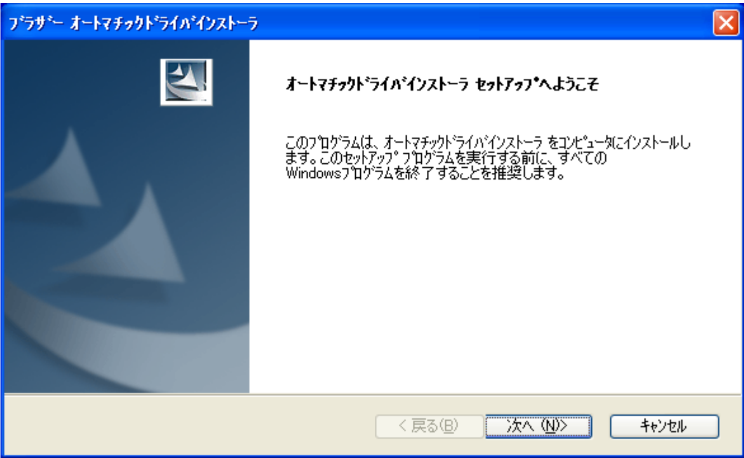
ブラザー BRAdmin ProfessionalやBRAdmin Lightでは、TCP/IPプロトコルを使用することができます。
ネットワークとプリンタの設定をグラフィカルに管理できます。また、BRAdmin Professional はネットワークボード（NIC）のファームウェアのアップデートにも使用できます。

オートマチックドライバインストーラを使う

プリンタドライバをご使用の設定に合わせて作成するツールです。パラレル、USB、ネットワーク、それぞれの接続毎にオリジナルドライバを作成でき、ユーザーに配布することができます。配布インストーラは、OS毎の作成が必要です。
プリンタドライバとソフトウェア（USB接続およびピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタドライバの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアはWindows®専用です。

対応ポート	OS
LPR	Windows® 98/Me/2000/XP、Windows NT® 4.0
IPP	Windows® 2000/XP

同梱の CD-ROM内の「追加 ソフトウェア」から［オートマチックドライバインストーラ］を起動します。画面の内容をよくお読みになり指示にしたがってください。



用語集

● APIPA

Automatic Private IP Addressingの略です。

IPアドレス配布サーバが無い環境では、本機が自分自身でIPアドレスを割り当てる機能です。

● Apple Talk

米アップルコンピューター社製品の Macintosh® 用ネットワークプロトコル群の総称です。

● ARP

Address Resolution Protocolの略です。

TCP/IPプロトコルにおいて、IPアドレスの情報からMACアドレスを調べて通知するプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocolの略です。

TCP/IPネットワーク上のクライアントマシンにおいてIPアドレスやホスト名、ドメイン名などのパラメーターをサーバーから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。

● BRAdmin Professional

BRAdmin Professional は、Windows® 98/Me/2000/XPおよびWindows NT® 4.0 の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンタを設定し、そのステータスを確認することができます。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略です。

動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク上のIPアドレスを動的かつ自動的に割り当て管理するプロトコル。

BOOTPの拡張版で、DHCPサーバーはDHCPクライアントの要求に応じてIPアドレスを割り当て、サーバーとクライアント間の通信にはBOOTPを使用します。

メッセージのフォーマットやプロトコルは、BOOTPとほぼ同じです。

● DNS

Domain Name Systemの略です。

TCP/IPネットワークで使用されるネームサービスです。クライアントはDNSサーバー内のホスト名とIPアドレスの対応関係を記述したデータベースを参照することで、ホストの名前を指定してネットワークにアクセスできるようになります。

● FTP

File Transfer Protocolの略です。

ファイル転送プロトコルで、TCP/IPプロトコルの一つです。ネットワークにログインし、ファイルの表示や転送を行う目的で使用されます。

● IPP

Internet Printing Protocolの略です。

インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルです。特徴として、ウェブブラウザなどが使うHTTPプロトコルを用いてネットワーク上のプリンタに印刷を指示できるようになっています。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできます。

● IP アドレス

IPプロトコルで使用するための32bit（IPv4）のアドレスで、ネットワーク自体やネットワーク上のノードを特定する論理番号のことです。

● LPR

Line PRinter daemon protocolの略です。

lpr は、プリント・キューに存在するプリント・ジョブを、printcapファイルで指定されたプリンタに印刷する要求を行うためのポートです。UNIX に接続されたプリンタに印刷するために、広く使われています。

● Microsoft Internet Print Services

IPPプロトコルを使用して、Windows® 2000/XPコンピュータを通じて印刷ジョブをプリンタに送るときに使用します。

● NetBIOS

Sytek 社が開発したアプリケーション・プログラム・インターフェース（API）で、LAN上のコンピュータが同じLAN上の他のコンピュータと対話する必要がある前提で設計されたインターフェースです。IBM Server、Microsoft LAN Manager 環境向けのアプリケーションを作成するときにプログラマが使用します。

● RARP

ARP プロトコルとは逆に、自ノードの MAC アドレスから「自分の」IPアドレスを求めるためのプロトコルです。

● TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）の略です。

インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路に関するプロトコル（IP）から構成されています。OSI参照モデルでは、TCPはレイヤー 4、IPはレイヤー 3に対応しています。

● TELNET

自端末からリモートシステム端末へのアクセス機能、ネットワーク内での仮想端末の機能を提供する TCP 上のプロトコルで、リモートTelnetコネクションという文字単位の通信経路を設定します。通常ログイン時のパスワード認証以外に特別なセキュリティ機能は持ちません。

● UDP

User Datagram Protocol の略です。

TCP/IPにおけるトランスポート層に属するプロトコル。

インターネットでは、音声や動画などのストリーミング送信などのデータ転送に使用されており、転送速度は速く信頼性が低いのが特徴です。

逆に、TCPは転送速度が遅く信頼性が高いのが特徴です。

● MAC アドレス（イーサネットアドレス）

イーサネット機器が持つ6バイトのアドレスです。ISO/OSI モデルの物理層およびデータリンク層で機能します。MAC アドレスは機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

● サブネットマスク

IPアドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことです。IPアドレスとサブネットマスクをANDすると、サブネットアドレスになります。

● ポート番号

複数の相手と同時に接続を行なうためにIPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレス。ポートの指定には0から65535までの数字が使われます。FTPは21、HTTPは80、メール受信は110、などのように、ポート番号はサービスを特定するための番号です。

● ルータ

ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

索　引

は

ふ

り

る